

令和7年度
日本学生支援機構奨学金
在学採用
下書き用紙記入例



一下書き用紙に表示している内容は2025年1月現在のものであり、実際の入力画面とは異なる場合があります。

2025年度
スカラネット入力下書き用紙（給付・貸与共通）
 【大学等（大学・短期大学・高等専門学校・専修学校（専門課程））用】

この下書き用紙には給付奨学金及び貸与奨学金それぞれに関する設問があり、希望する奨学金の種類によって回答の必要な設問が異なります。
 [給付奨学金案内][貸与奨学金案内]も確認しながら、「スカラネット入力下書き用紙」に記入を行いましょう。
 奨学金案内掲載箇所：
https://www.jasso.go.jp/shogakukin/moshikomi/zaigaku/tebiki/daigaku_etc.html

スカラネットURL <https://www.sas.jasso.go.jp/>
 受付期間 8:00～25:00（最終締切日の受付時間は8:00～24:00）
 ※受付時間を過ぎると画面が強制終了します。余裕をもって入力を開始してください。スカラネット入力所要時間の目安は30分から1時間です。

スカラネット入力期限	月	日	時まで	インターネットによるマイナンバー提出等の手続き	月	日	時まで
------------	---	---	-----	-------------------------	---	---	-----

氏名	学籍番号	学部・学科・分野
受付番号		

↑スカラネット入力が完了し「送信」ボタンを押した後に、受付番号が画面に表示されます。
 ↑定期採用、累計急変採用で申し込み済の場合は「2」、緊急採用・応急採用で申し込み済の場合は「3」になります。

- 【スカラネット入力の際に、手元に用意する書類】
- ・学校から受け取った識別番号（ユーザIDとパスワード）
 - ・奨学金確認書兼地方税同意書
 - ・奨学金振込口座（本人名義）の情報がわかるもの

【スカラネット入力内容記入欄】

識別番号の入力
 あなたの識別番号（学校から交付されたユーザIDとパスワード）を入力してください。
 [除] パスワード入力の際は半角、英数字・小文字の区別をします。

ユーザID	パスワード
-------	-------

奨学金学種（学校）・申込の選択

1. あなたはどの課程で奨学金を受けたいですか。
 大学の場合
 短期大学の場合
 専修学校（専門課程）の場合
 高等専門学校の場合

申し込む奨学金を選択後、「次へ」ボタンを押してください。
 2. 申し込む奨学金を選択してください。

(1) 定期採用（1次又は2次 給付奨学金・貸与奨学金）
現在在学している **自動表示** での奨学金を申込みすることができます。
大学（通信課程）の場合は、
 「(1) 定期採用（夏季スクーリング又は冬季スクーリング）」と表示されます。

(2) 累計急変採用（給付奨学金）
年計維持者に特定の事由が生じたことで累計急変し、急変後の収入状況が住民税情報に反映される前、支援を受ける場合のみ申し込みすることができます。
 奨学金案内で申込資格を確認してください。
 誤って累計急変採用を選択すると、定期採用に修正することができません。選択時にご確認ください。

(3) 緊急採用・応急採用（貸与奨学金）
天災、飢饉、病気、死亡等又は火災、風水害等により累計急変が生じた人のみ申込みすることができます。
 奨学金案内で申込資格を確認してください。

希望する奨学金を選んでいることを確認してください。誤ると申込みをやり直す必要が生じます。

全員
 いずれの期限も〇月〇日〇時までです

全員
 上段は氏名等を記入してください
 下段は申請完了後表示される受付番号を記入してください

全員
 大学からお渡しする識別番号（ID・PW）を記入してください

全員
 大学を選択してください

全員

大学からお渡しする
「奨学金確認書兼地方税同意書」に
きざされている申込ID・PWを
記入してください

ログイン
申込IDとパスワードを入力して、下の「次へ」ボタンを押しください。

申込ID	Z	D	2	5															
パスワード																			

注) パスワード入力の際は全角・半角、大文字・小文字の区別をします。

○メールアドレスの登録
登録するメールアドレスを入力してください。ページ最下部の「送信」ボタンを押すと、入力したメールアドレス宛に認証コードが送信されます。

登録するメールアドレス

【登録するメールアドレスについて】
・申込IDやパスワードを忘れた場合の、申込IDの送付やパスワード初期化の認証、生計維持費等を変更若しくは追加し、又は既読した個人番号の提出が印付した場合に個人番号の再提出が必要となること及び前記の場合に再提出がないことを通知する目的でのみ使用されます。差支不備や追記集の通知には使用されません。
・迷惑メール設定をしている場合、認証メールが届かない可能性があります。(jasso@scs.jasso.go.jp)からのメールを受信できるように設定を変更してから、「送信」してください。

○新しいパスワードの設定
初回のみ「奨学金確認書兼地方税同意書」に印字されているパスワードの変更が必要です。新しいパスワードを設定してください。
【パスワードの管理について】
◆第一者に予測されやすい数字や英字(生年月日、電話番号、氏名のイニシャル等)を使用しないでください。
◆第三者にパスワードを教えないでください。
◆第三者の目につく場所にパスワードを記入したメモを残さないでください。
◆【パスワード作成の条件】
半角の英字、数字を含む組み合わせであること。8～16文字以内であること。
申込IDと異なる文字列であること。現在登録済みのパスワードと異なるものであること。

○メールアドレス認証
入力したメールアドレスに認証コードを送信しました。メールに郵載の認証コードを入力してください。

全員

任意のメールアドレスを記入してください
※システムで申請する際は、
認証手続きがあります

アカウント情報登録完了と表示されたら、「次へ」を押すとメインメニューが表示されます。「奨学金申込」をクリックします。

スカラネット説明	入力内容記入欄
<p>STEP1 申請にあたっての同意事項の確認</p> <p>■申請にあたっての同意事項の確認 あなたは、独立行政法人日本学生支援機構（以下「機構」という）の給付奨学金及び貸与奨学金をインターネットから申し込みにあたり、奨学金案内に記載の内容並びに以下に表示される機構の諸規程、貸与委託約款、個人情報情報取扱いに関する同意事項及びその他同意事項を確認したうえで、あなたと生計維持者の状況等を正確なく機構に登録することに同意しますか。 (規定等に表示される内容) ・独立行政法人日本学生支援機構法 ・独立行政法人日本学生支援機構法施行令 ・独立行政法人日本学生支援機構に関する省令 ・業務方法書 ・保証委託約款 ・個人情報情報取扱いに関する同意事項 ・その他同意事項（給付奨学金の返還等に関する事項、貸与申込条件等）</p> <p style="text-align: right;">「規定等を表示」 ↓ 「同意します」</p>	
<p>STEP2 ①あなたの氏名・誓約情報</p> <p>日本学生支援機構理事長 殿 私は貸与奨学金の申込みにあたり、「奨学金確認書兼地方税同意書」を貴機構に提出するとともに、奨学生に採用決定後は速やかに貸与奨学金は「返還誓約書」を提出し、貸与が終了した後、または給付に返還の義務が生じた場合には滞りなく返還すること及び以下の申込み前記事項については正しく入力することを誓約します。 ・誓約日 2025年 年 日</p> <p>スカラネットを入力する日（この日を基準とし、成年判定を行います） ※家計急変採用、緊急採用・応急採用に申し込む人は、スカラネットの入力が完了した日</p> <p>・漢字氏名 (全角5文字以内) _____ ・カナ氏名 (全角15文字以内) _____</p> <p>「給付奨学金案内」、「貸与奨学金案内」を参照してください。 振込口座の名義人氏名と同一であることが必要です。通帳の口座名義人氏名を必ず確認しながら入力してください。 ・生年月日 西暦 年 月 日</p> <p>誤ると、正しく成年判定を行うことができませんので注意してください。</p>	

全員

「同意します」にチェックしてください

全員

下書き用紙の記入日ではなく、
システムでの申請日としてください

全員

あなたの氏名（漢字・フリガナ）を
記入してください

全員

あなたの生年月日を
西暦で記入してください

全員

「日本国籍・日本国籍以外」の
いずれかを選択してください

日本国籍以外

本項目について記入してください

貸与

いずれか該当するものを選択してください
貸与奨学生は、奨学生番号を記入してください

スカラネット設問	入力内容記入欄
<p>国籍 国籍が「日本国籍以外」の場合、在留資格を法訳してください。 外国籍の人は「給付奨学金案内」、「貸与奨学金案内」の「在留資格に制限があります。必ず在留資格を確認してください。」</p> <p>国籍が「日本国籍以外」を選んだ人は、在留資格の証明書類を学校へ提出する必要があります。 ※在留資格が永住者又は特別永住者の場合は、在留期間（満了日）の入力は不要です。</p> <p>在留資格 <input type="radio"/> 永住者・特別永住者 <input type="radio"/> 日本人の配偶者等 <input type="radio"/> 永住者の配偶者等 <input type="radio"/> 定住者 <input type="radio"/> 家族滞在</p> <p>在留期間（満了日） 日本人の配偶者等、永住者の配偶者等、定住者及び家族滞在の人は、在留期間（満了日）を入力してください。 在留資格が「定住者」の場合、日本に永住する意思がありますか。 在留資格が「家族滞在」の場合、入学等を卒業後7日以内で就労し定住する意思がありますか。 在留資格が「家族滞在」の場合、日本へ初めて入国した日を入力してください。</p> <p>西暦 年 月 日 <input type="radio"/> はい <input type="radio"/> いいえ</p> <p>西暦 年 月 日 <input type="radio"/> はい <input type="radio"/> いいえ</p> <p>西暦 年 月 日 <input type="radio"/> はい <input type="radio"/> いいえ</p> <p>西暦 年 月 日 <input type="radio"/> はい <input type="radio"/> いいえ</p> <p>◆給付奨学金支援区分の情報提供の確認◆ あなたが高等教育の修学支援新制度（給付奨学金及び授業料等減免）を申請する場合は、あなたの給付奨学金における審査結果（支給額の割合に関する情報を含む。）について、整備システム等を通じて在籍する学校に必要な形式に応じて提供します。 <input type="checkbox"/> 同意します</p> <p>◆第一種奨学金の貸与月額の確認◆ あなたが第一種奨学金（要返還・無利子）と給付奨学金又は授業料等減免の支援を受けられる場合は、政令等の規定に基づき、給付奨学金の支給月額及び授業料の減免額に応じて、第一種奨学金の貸与月額が調整（減額または増額）される場合があります。調整の結果、借入金額が必須となる場合は、別途届出が必要になります。また、調整後の貸与月額につき選択が可能な場合は、機種の定めるところにしたがい調整後の貸与月額と同額以下の貸与月額に調整されます。 <input type="checkbox"/> 同意します</p>	<p><input type="radio"/> 日本国籍 <input type="radio"/> 日本国籍以外</p>
<p>希望する奨学金</p> <p>STEP3 ②奨学金申込情報</p> <p>1. 高等教育の修学支援新制度（給付奨学金及び授業料等減免）を希望しますか。 ※家族計画策定済みの方は、「希望しません」に変更できません。</p> <p>2. 貸与奨学金（月額：第一種奨学金（無利子）、第二種奨学金（有利子））の新規申込みを希望しますが（現生、貸与奨学金を受けている場合、(c)の(8)～(14)を選択する方以外は「希望しません」を選択してください）。</p> <p>（重要）給付奨学金又は高等教育の修学支援新制度による授業料減免を受けている人が併せて第一種奨学金の貸与を受けられる場合、給付奨学金の支援区分等に応じて第一種奨学金の貸与月額が調整されます。この場合、貸与奨学金の申込時に選択した貸与月額及び貸与中の月額から減額又は増額（併給調整といいますが）されることがあるのでご注意ください。</p> <p>あなたの希望する貸与奨学金を1つ選択してください。通信教育課程の場合は2ページで選択します。</p> <p>(a) 第一種奨学金又は第二種奨学金のどちらかを希望する人のみ入力してください。 <input type="radio"/> (1) 第一種奨学金のみ希望します。 <input type="radio"/> (2) 第一種奨学金を希望するが、不採用の場合、第二種奨学金を希望します。 <input type="radio"/> (3) 第二種奨学金のみ希望します。</p> <p>(b) 併用貸与を希望する人のみ入力してください。 <input type="radio"/> (4) 第一種奨学金及び第二種奨学金との併用貸与のみを希望します。 <input type="radio"/> (5) 併用貸与を希望するが、不採用の場合、第一種奨学金のみ希望します。 <input type="radio"/> (6) 併用貸与不採用及び第一種奨学金不採用の場合、第二種奨学金を希望します。 <input type="radio"/> (7) 併用貸与不採用の場合、第二種奨学金のみ希望します。</p> <p>(c) 現在奨学金の貸与を受けている人のみ入力してください。 <input type="radio"/> (8) 第二種奨学金の貸与を受けていますが、第一種奨学金への変更を希望します。 <input type="radio"/> (9) 第一種奨学金の貸与を受けていますが、第二種奨学金への変更を希望します。 <input type="radio"/> (10) 第一種奨学金の貸与を受けていますが、併用貸与への変更を希望します。 <input type="radio"/> (11) 第二種奨学金の貸与を受けていますが、併用貸与への変更を希望します。 <input type="radio"/> (12) 第一種奨学金の貸与を受けていますが、併用貸与への変更を希望します。 <input type="radio"/> (13) 第一種奨学金の貸与を受けていますが、併用貸与への変更を希望します。 <input type="radio"/> (14) 第二種奨学金の貸与を受けていますが、併用貸与への変更を希望します。 <input type="radio"/> 併用貸与不採用の場合、第二種奨学金への変更を希望します。 <input type="radio"/> 併用貸与不採用の場合、第一種奨学金への変更を希望します。</p> <p>※(12)は欠番です。 上記、(8) (9) (10) (11) (13) (14) を選択した人は奨学生番号を記入してください。</p> <p>奨学生番号 <input type="text" value="0"/></p>	<p><input type="checkbox"/> 希望します <input type="checkbox"/> 希望しません</p> <p><input type="checkbox"/> 希望します <input type="checkbox"/> 希望しません</p>

全員

「同意します」にチェックしてください

全員

「同意します」にチェックしてください

全員

給付奨学金の希望の有無を選択してください

全員

貸与奨学金の希望の有無を選択してください

希望する奨学金	スカラネット画面表示	入力内容記入欄
第1種・第2種	<p>〔(8) (9) (10) (11) (13) (14) を選択する人〕は必ず以下の「奨学金申込区分の注意事項①」を確認してください。 〔(5) (6) (7) を選択する人〕は必ず以下の「奨学金申込区分の注意事項②」を確認してください。</p> <p>奨学金申込区分の注意事項① ※申込区分 (8) ～ (14) を希望し、現在貸与を受けている奨学金の変更を希望する人は、採用後に、現在貸与中の奨学金の一部を返還する必要のある場合があります。 ※申込区分 (8) ～ (14) を希望し、不採用となった場合でも貸与中の奨学金が打ち切られることはありません。</p> <p>◆在学採用で申込区分 (8) (9) (13) (14) を希望する</p> <ul style="list-style-type: none"> 予称採用者で進学届を提出したが、奨学生番号が決定していない人 短期大学・高等専門学校・専修学校から大学への編入学により第一種奨学金を継続するが、奨学生番号が決定していない人 既に一種・二種どちらか一方を貸与中の人 <p>奨学生番号が決定している場合： (8) (9) (13) 又は (14) を選択し、貸与中の奨学金の奨学生番号を入力してください。</p> <p>奨学生番号が決定していない場合： (1) 第一種奨学金のみ希望します 又は (3) 第二種奨学金のみ希望します を選択し、別途 (8) (9) (13) 又は (14) を希望していることを学校担当者に申し出てください。</p> <p>◆在学採用で申込区分 (10) (11) を希望する</p> <ul style="list-style-type: none"> 予称採用者で進学届を提出したが、奨学生番号が決定していない人 短期大学・高等専門学校・専修学校から大学への編入学により第一種奨学金を継続するが、奨学生番号が決定していない人 既に一種・二種どちらか一方を貸与中の人 <p>奨学生番号が決定している場合： (10) 又は (11) を選択し、貸与中の奨学金の奨学生番号を入力してください。</p> <p>奨学生番号が決定していない場合： (10) 又は (11) を選択し、貸与中の奨学生番号入力欄は空欄のままにしてください。</p> <p>奨学金申込区分の注意事項② 在学採用で申込区分 (5) (6) (7) を希望する場合、併用貸与が不採用になった場合を想定して、第2希望・第3希望の貸与奨学金の月額を減額してください。なお、採用後、貸与月額を減額することができます。</p>	
	<p>通信課程の場合 あなたの希望する貸与奨学金を1つ選択してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ (1) 第一種奨学金のみ希望します。 ○ (2) 第二種奨学金のみ希望します。 ○ (3) 第一種奨学金及び第二種奨学金との併用貸与を希望します。 <p>あなたが在籍している通信課程により奨学金の貸与を受けられない場合があります。詳しくは学校に確認してください。</p>	
全員	<p>STEP3 ③あなたの在学課程</p> <p>(1) あなたの学校名を確認してください。 (2) あなたの学号番号を記入してください。 学号番号は半角英数字と半角ハイフンのみ入力可能 (3) あなたの在学している学部 (科) 名を選択してください。 (※) 短期大学・専修学校に在学している方は学校の指示にしたがって選択してください。 (4) あなたは専攻科または専攻科に在学していますか？</p> <p>専修学校又は高等専門学校の場合は、学校からの指示がない限り (4) は「いいえ」を選択してください。 短期大学は、「あなたは専攻科または専攻科に在学していますか？」という設問を表示します。 高等専門学校は、「あなたは正規の課程を修了後に専攻科に在学していますか？」という設問を表示します。 短期大学、高等専門学校で、上記で「はい」と答えた人にお聞きします。あなたが在籍する専攻科は、独立行政法人大学改革支援・学位授与機構に認められた認定専攻科ですか。 専修学校は、「あなたは上級学科に在学していますか？」という設問を表示します。</p> <p>(5) 学年を記入してください。 編入学の場合は編入した学年を入力してください。</p>	<p>自動表示</p> <p>いいえ ○専攻科 ○専攻</p> <p>○はい ○いいえ</p> <p>○はい ○いいえ</p> <p>○はい ○いいえ</p> <p>○はい ○いいえ</p> <p>学年</p>

全員

「高知県立大学」と記入してください

全員

「いいえ」にチェックをいれてください

全員

在籍する学部を入力してください

全員

あなたの学年を記入してください

全員

文化学部（夜間主）以外は「昼（昼夜開講を含む）」
文化学部（夜間主）は「夜」を選択してください

希望する奨学金	スカラネット画面表示	入力内容記入欄																																				
	<p>(6) 昼夜開講を選択してください。 通学課程の学年は「昼（昼夜開講を含む）」又は「夜」を選択してください。</p> <p>○昼（昼夜開講を含む） ○夜 ○通年スクーリング ○長期スクーリング</p> <p>○昼 ○夜 ○通年スクーリング ○長期スクーリング</p>																																					
	<p>(7) 現在通っている学校への入学について、次の①～③のうち該当するものを選択し、入学年月等を記入してください。</p> <p>編入学又は転学した人は、前に在学していた学校への入学年月等も入力が必要です。 高等専門学校から編入学、私学又は専攻科に入学した場合、前に在学していた学校の入学年月には高等専門学校の4年次に進級した年月を入力してください。 緊急採用・志願採用に申し込む場合は、入学年月のみを入力する設定となりますので、現在在籍している課程の1年次に入学した実際の年月（在学している学校に編入学又は転学した人は、編入学又は転学する前の学校の1年次に入学（高等専門学校からの編入学又は転学の場合は、高等専門学校の4年次に進級）した実際の年月）を入力してください。</p> <p>○①現在通っている学校の1年次に入学した。（同一校の転学部・科している場合を含む） →入学した年月 <table border="1"><tr><td>西暦</td><td>年</td><td>月</td></tr></table></p> <p>○②現在通っている学校の2年次以上の学年（課程）に、他の学校から編入学又は転学した。（以下の3つの年月を全て記入してください） →現在通っている学校へ編入学又は転学する前に在学していた学校へ入学した年月 <table border="1"><tr><td>西暦</td><td>年</td><td>月</td></tr></table> →現在通っている学校へ編入学又は転学する前に在学していた学校に在籍していた最終年月 <table border="1"><tr><td>西暦</td><td>年</td><td>月</td></tr></table> →現在通っている学校へ編入学又は転学した年月 <table border="1"><tr><td>西暦</td><td>年</td><td>月</td></tr></table></p> <p>○③現在通っている学校の2年次以上の学年（課程）に、他の学校から編入学又は転学した（編入学又は転学の前に在学していた学校（大学、短大、専専、専門学校）が2つ以上ある）。（以下5つの年月を全て記入してください）</p> <p>【1回目の編入学】 →2回目の学校へ編入学又は転学する前に在学していた学校へ入学した年月 <table border="1"><tr><td>西暦</td><td>年</td><td>月</td></tr></table> →2回目の学校へ編入学又は転学する前に在学していた学校に在籍していた最終年月 <table border="1"><tr><td>西暦</td><td>年</td><td>月</td></tr></table> →2回目の学校へ編入学又は転学した年月 <table border="1"><tr><td>西暦</td><td>年</td><td>月</td></tr></table></p> <p>【2回目の編入学】 →現在通っている学校へ編入学又は転学する前に在学していた学校に在籍していた最終年月 <table border="1"><tr><td>西暦</td><td>年</td><td>月</td></tr></table> →現在通っている学校へ編入学又は転学した年月 <table border="1"><tr><td>西暦</td><td>年</td><td>月</td></tr></table></p> <p>高等専門学校は、「現在通っている学校の4年次に進級した年月を記入してください」 短期大学又は高等専門学校の認定専攻科に在学している人は、以下の年月を入力する設問を表示します。 ・専攻科に入学する前に通っていた学校（本科）へ入学した年月 <table border="1"><tr><td>西暦</td><td>年</td><td>月</td></tr></table> ・専攻科に入学する前に通っていた学校（本科）に在籍していた最終年月 <table border="1"><tr><td>西暦</td><td>年</td><td>月</td></tr></table> ・専攻科に入学した年月 <table border="1"><tr><td>西暦</td><td>年</td><td>月</td></tr></table></p>	西暦	年	月	西暦	年	月	西暦	年	月	西暦	年	月	西暦	年	月	西暦	年	月	西暦	年	月	西暦	年	月	西暦	年	月	西暦	年	月	西暦	年	月	西暦	年	月	
西暦	年	月																																				
西暦	年	月																																				
西暦	年	月																																				
西暦	年	月																																				
西暦	年	月																																				
西暦	年	月																																				
西暦	年	月																																				
西暦	年	月																																				
西暦	年	月																																				
西暦	年	月																																				
西暦	年	月																																				
西暦	年	月																																				
	<p>(8) あなたの正規の卒業予定年月を記入してください。</p> <p>通常は正規の卒業予定年月を入力しますが、過云に休学や留年をしたことがある人は、入学当初の卒業予定ではなく、今後の卒業予定期を入力してください。なお、年度途中修了など特別な事情により、卒業日が3月以外になる学部・学科に在籍する場合は学校に確認してください。</p> <p>西暦 年 月</p>																																					
	<p>(9) あなたの正規の修業年限を記入してください</p> <p>「修業年限」とは、あなたの学部・学科が何年課程のものかという意味です。 （例）・4年課程の3年次に在学（編入）する人の修業年限は4年0か月。 ・2年課程に在学し、1年次の途中で申し込む人の修業年限は2年0か月。 ・5年生課程の4年次に編入学する人の修業年限は5年0か月。</p> <p>年 月 日</p>																																					
	<p>長期履修学生について「長期履修学生（給付奨学金案内）」「貸与奨学金案内」を参照。については、原則として奨学金を受けられる期間は通常課程の標準修業年限に相当する期間のみとなります。この場合、卒業予定年月は通常課程の卒業予定年月を、修業年限は通常課程の標準修業年限を人のうえ、学校担当者へ申し出てください。 （2025年4月入学者の例） 通常課程の標準修業年限は2年・卒業予定年月は2027年3月、3年かけて履修し2028年3月が卒業予定年月となる長期履修学生。 ⇒卒業予定年月は2027年3月・修業年限は2年0か月と入力してください。なお、第二種奨学金の場合は、採用後に一定の手続きを行うことにより学期に定める「長期履修課程の修業年限の最終まで」貸与を延長することができます。詳しくは、学校に相談してください。</p>																																					

全員

①～③のうち、該当するものを選択し、
入学年月等を記入してください

全員

卒業予定年月を記入してください

全員

修業年限を記入してください
※学部生は原則4年0か月です

全員

通学形態を選択してください

自宅外通学

該当する項目を選択、必要事項を記入してください

全員

以下いずれかのキャンパス住所を記入してください

- 池キャンパス
〒781-0111
高知市池2751番地 1
- 永国寺キャンパス
〒780-0844
高知市永国寺町2番22号

給付

特段の事情がなければ、原則「いいえ」を選択してください

希望する奨学金	スカラネット画面表示	入力内容記入欄
<p>全員 (※要採用・応募実行は表示されません)</p>	<p>(10) あなたが通学するキャンパスのある住所を入力してください。 申し込み時点で通学しているキャンパスの住所を選択してください。 ※郵便番号を入力して「住所検索」ボタンを押しても住所が自動入力されない場合は、郵便局ホームページから住所をもとに郵便番号を検索してください。 (重要) 住所入力についてページ参照</p> <p>郵便番号 <input type="text"/> ↓番地まで入力されません</p> <p>住所 1 (自動入力) <input type="text"/></p> <p>住所 2 (番地以降) <input type="text"/></p>	<p>↓番地まで入力されません</p>
	<p>(11) あなたの通学形態を選択してください。 通学形態について 2025年4月時点 (二次採用 (秋)) で申し込みの場合は2025年10月時点 (家計急変採用で申し込みの場合はスカラネット入力完了時点) での状況に基づき選択してください。給付奨学金を申し込み人が自宅外月額を希望する場合は、書類提出が必要ですが (社会的責務を必要とする人も同様です)。 通信教育夏期・冬期スクーリング及び放送大学で貸与奨学金に申し込みの場合は、「自宅通学 (またはこれに準ずる)」を選択し、前記認可の入力は不要です。 ※社会的責務を必要とする人が、児童養護施設等や里親等のもとから通学し、本人居住にかかる費用 (家賃) を負担していない場合は、「自宅通学 (またはこれに準ずる)」を選択してください。 ※社会的責務を必要とする人を含む独立生計者が居住にかかる費用 (家賃) を支払いながら通学している場合は、学校までの通学距離・時間等に問わず「自宅外通学」を選択し、上記説明にて⑥及び「支障が生じる」を選択のうえ、支障が生じる理由の入力欄に独立生計者であることを記入してください。 ※給付奨学金を希望する人が「自宅外通学」を選択した場合でも、自宅通学の月額からの振込み開始となります (給付奨学金に併せて第一種奨学金を希望する場合、第一種奨学金も自宅外月額からの振込みとなります)。自宅外月額の振込みは、生計維持者 (原則父母) と同居し、かつ学生等本人の居住に係る寮舎が完済していることの証明書類 (アパートの賃貸借契約書のコピー等) を学校へ提出し、不備なく審査終了してからとなります。 ただし、定められた期限までに不備のない書類提出がなく、遅れて審査終了となった場合は、届出月から自宅外月額に変更します。 上記で「自宅外通学」を選択した人にお知らせします。 「自宅外通学」が適用される要件は、次のとおりです。あなたが該当するもの全てを選択してください。いずれにも該当しない場合は、「自宅通学 (またはこれに準ずる)」を選択し直してください。 □①実家 (生計維持者いずれも住所) から入学期までの通学距離が片道60キロメートル以上 □②実家から大学等までの通学時間が片道120分以上 □③実家から大学等までの通学費が月1万円以上 □④実家から大学等までの通学時間が片道90分以上であって、通学時間帯に利用できる交通機関の運行本数が1時間当たり1本以下 □⑤その他やむを得ない特別な事情により、学業との関連で、実家からの通学が困難である場合 上記で「⑥その他やむを得ない特別な事情により、学業との関連で、実家からの通学が困難」と答えた人は、実家から通学した場合、学業継続に支障が生じますか。 <input type="radio"/>支障が生じる。 <input type="radio"/>支障が生じない 上記で「支障が生じる」と答えた人は、支障が生じる理由を以下に記入してください。 <input type="text"/> <input type="text"/> 「自宅外通学」となるあなたの居住所を入力してください。 「自宅外通学」を選択した場合は入力が必要になります。 郵便番号 <input type="text"/> ↓番地まで入力されません (重要) 住所入力についてページ参照 住所 1 (自動入力) <input type="text"/> 住所 2 (番地以降) <input type="text"/></p>	<p>自宅外通学 (またはこれに準ずる) <input type="radio"/></p> <p>自宅通学 <input type="radio"/></p>
<p>給付</p>	<p>STEP3 ④奨学金給付額情報</p> <p>1. 給付奨学金を希望する人は次のことに答えてください。 (1) 給付奨学金が採用となった場合、4月振込分からの支給の停止を希望しますか。 <input type="radio"/>はい <input type="radio"/>いいえ 【注意】 支給を受けたい時は、「いいえ」を選択してください。「はい」を選択すると、採用されても振込められません。 二次採用 (秋) は「10月振込分から」と表示されます。 以下のような場合に「はい」を選択してください。 ・海外留学支援制度の利用に伴い、支給を停止する必要がある ・他団体の奨学金の利用に伴い、日本学生支援機構の奨学金の利用に制限があるため、支給を停止する必要がある ※届出による停止解除により、支給を再開することができます。 【はい】と答えた人は、停止理由を記入してください。 ○2025年4月1日時点で休学中であるため (2025年4月2日以降に休学が始まる場合は該当しません。申込後、別途手続が必要です)。 ○他団体の奨学金利用に伴い、機構の給付奨学金との併給が認められないため ○その他 ※家計急変採用に申し込みの場合は、以下に読み替えてください。 ・「4月振込分からの」→削除 ・「2025年4月1日時点」→「申込時点」 ・「(2025年4月2日以降に…(略)…別途手続が必要です)」→削除</p>	<p>いいえ <input type="radio"/></p> <p>はい <input type="radio"/></p> <p>次の取組にある匡復による変更はありません。</p>

希望する奨学金	スカラネット画面表示	入力内容記入欄																																																																																																																														
給付	<p>(2) あなたは、2025年4月以降、以下の支援を受ける予定がありますか。(ハロワや役所からあなた本人が受けている給付金があれば、次に該当するものがないか、必ず確認してください。)</p> <p>申込者本人(あなた)が受けているかどうかについて選択してください。 生計維持者(両親等)が受けている場合は該当しません。 ※家計急変採用に申し込む場合は以下に読み替えてください。 [2025年4月以降]→削除</p> <p>※2025年4月以降、以下の事由による支援を受けている期間は、日本学生支援機構の給付奨学金の額は0円となります。</p> <ul style="list-style-type: none"> 教育訓練支援給付金【雇用保険法】 訓練延長給付、技能者手当(受講手当、通学手当)、養育手当【雇用保険法】 職業訓練受給給付金【職業訓練の受講等による特定求職者の就職の支援に関する法律】 高等職業訓練促進給付金(ひとり親家庭の親を対象とする給付金)【甲子及び父子並びに専業主婦法】 職業再就職給付金<訓練手当>【労働政策の総合的な推進並びに労働者の雇用の安定及び職業生活の充実等に関する法律】 <p><input type="checkbox"/> 支援を受けておらず受ける予定もない <input type="checkbox"/> 支援を受けている <input type="checkbox"/> 支援を受ける予定である</p> <p style="text-align: right;">年 月 ~ 年 月 年 月 ~ 年 月</p> <p>「支援を受けている」「支援を受ける予定である」を選択した人には、給付金の種類が表示されます。 →家計急変採用に申し込む場合は併ページ下段の設問が表示されます。</p>																																																																																																																															
第 3 種	<p>STEP3 (5)奨学金貸与額情報 大学・短期大学・専修学校専門課程の場合</p> <p>1. 第一種奨学金を希望する人は次のことに答えてください。 (1) あなたの希望する月額を1つ選択してください。</p> <p>入学年度によって、適用される貸与月額が異なります。また、専修学校(専門課程)のうち、独立行政法人及び地方独立行政法人が設置する専修学校は「国・公立」の月額が適用されます。</p> <p>[2018年度以降入学者(2018年4月以降の入学年月を入力した人)の貸与月額] (単位 円)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="2">大学</th> <th colspan="2">短大</th> <th colspan="2">国・公立</th> <th colspan="2">私立</th> </tr> <tr> <th>国・公立</th> <th>私立</th> <th>国・公立</th> <th>私立</th> <th>国・公立</th> <th>私立</th> <th>国・公立</th> <th>私立</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>最高月額</td> <td>4万5千円</td> <td>5万1千円</td> <td>5万4千円</td> <td>6万4千円</td> <td>4万5千円</td> <td>5万1千円</td> <td>5万3千円</td> <td>6万</td> </tr> <tr> <td>貸与月額以上の月数</td> <td>3回</td> <td>5回</td> <td>3回</td> <td>3回</td> <td>3回</td> <td>3回</td> <td>3回</td> <td>3回</td> </tr> <tr> <td></td> <td>2回</td> <td>2回</td> <td>2回</td> <td>2回</td> <td>2回</td> <td>2回</td> <td>2回</td> <td>2回</td> </tr> </tbody> </table> <p>最高月額を利用するためには、併用貸与の家計基準を満たしていることが必要です。 収入・所得金額の目安は、貸与奨学金案内(入学等)を参照してください。</p> <p>→最高月額を選択した人は、以下の質問に答えてください。 貸与月額 <input type="checkbox"/> 最高月額自動表示 円は一定の条件を満たした場合のみ貸与を受けられる月額です。条件を満たさなかった場合に希望する月額を選択してください。</p> <p>[2017年度以前入学者(2018年3月以前の入学年月を入力した人)の貸与月額] (単位 円)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="2">大学</th> <th colspan="2">短大</th> <th colspan="2">国・公立</th> <th colspan="2">私立</th> </tr> <tr> <th>国・公立</th> <th>私立</th> <th>国・公立</th> <th>私立</th> <th>国・公立</th> <th>私立</th> <th>国・公立</th> <th>私立</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>最高月額</td> <td>4万5千円</td> <td>5万1千円</td> <td>5万4千円</td> <td>6万4千円</td> <td>4万5千円</td> <td>5万1千円</td> <td>5万3千円</td> <td>6万</td> </tr> <tr> <td>貸与月額以上の月数</td> <td>3回</td> <td>5回</td> <td>3回</td> <td>3回</td> <td>3回</td> <td>3回</td> <td>3回</td> <td>3回</td> </tr> <tr> <td></td> <td>2回</td> <td>2回</td> <td>2回</td> <td>2回</td> <td>2回</td> <td>2回</td> <td>2回</td> <td>2回</td> </tr> </tbody> </table> <p>2017年度以前入学者は、最高月額の選択制度はありません。</p> <p>高等専門学校の場合</p> <p>1. 第一種奨学金を希望する人は次のことに答えてください。 (1) あなたの希望する月額を1つ選択してください。</p> <p>[2018年度以降入学者(2018年4月以降の入学年月を入力した人)の貸与月額] (単位 円)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">学年</th> <th rowspan="2">月額の区分</th> <th colspan="2">国・公立</th> <th colspan="2">私立</th> </tr> <tr> <th>自費</th> <th>自費外</th> <th>自費</th> <th>自費外</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">1～3年生</td> <td>最高月額</td> <td>2万1千円</td> <td>2万2千円</td> <td>3万2千円</td> <td>3万5千円</td> </tr> <tr> <td>貸与月額以上の月数</td> <td>7回</td> <td>7回</td> <td>7回</td> <td>7回</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">4・5年生(※)</td> <td>最高月額</td> <td>4万5千円</td> <td>5万1千円</td> <td>5万3千円</td> <td>6万</td> </tr> <tr> <td>貸与月額以上の月数</td> <td>3回</td> <td>3回</td> <td>3回</td> <td>3回</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>2回</td> <td>2回</td> <td>2回</td> <td>2回</td> </tr> </tbody> </table> <p>最高月額を利用するためには、併用貸与の家計基準を満たしていることが必要です。 収入・所得金額の目安は、貸与奨学金案内(高専)を参照してください。</p> <p>→最高月額を選択した人は、以下の質問に答えてください。 貸与月額 <input type="checkbox"/> 最高月額自動表示 円は一定の条件を満たした場合のみ貸与を受けられる月額です。条件を満たさなかった場合に希望する月額を選択してください。</p>		大学		短大		国・公立		私立		国・公立	私立	国・公立	私立	国・公立	私立	国・公立	私立	最高月額	4万5千円	5万1千円	5万4千円	6万4千円	4万5千円	5万1千円	5万3千円	6万	貸与月額以上の月数	3回	5回	3回	3回	3回	3回	3回	3回		2回	2回	2回	2回	2回	2回	2回	2回		大学		短大		国・公立		私立		国・公立	私立	国・公立	私立	国・公立	私立	国・公立	私立	最高月額	4万5千円	5万1千円	5万4千円	6万4千円	4万5千円	5万1千円	5万3千円	6万	貸与月額以上の月数	3回	5回	3回	3回	3回	3回	3回	3回		2回	2回	2回	2回	2回	2回	2回	2回	学年	月額の区分	国・公立		私立		自費	自費外	自費	自費外	1～3年生	最高月額	2万1千円	2万2千円	3万2千円	3万5千円	貸与月額以上の月数	7回	7回	7回	7回	4・5年生(※)	最高月額	4万5千円	5万1千円	5万3千円	6万	貸与月額以上の月数	3回	3回	3回	3回			2回	2回	2回	2回	
	大学		短大		国・公立		私立																																																																																																																									
	国・公立	私立	国・公立	私立	国・公立	私立	国・公立	私立																																																																																																																								
最高月額	4万5千円	5万1千円	5万4千円	6万4千円	4万5千円	5万1千円	5万3千円	6万																																																																																																																								
貸与月額以上の月数	3回	5回	3回	3回	3回	3回	3回	3回																																																																																																																								
	2回	2回	2回	2回	2回	2回	2回	2回																																																																																																																								
	大学		短大		国・公立		私立																																																																																																																									
	国・公立	私立	国・公立	私立	国・公立	私立	国・公立	私立																																																																																																																								
最高月額	4万5千円	5万1千円	5万4千円	6万4千円	4万5千円	5万1千円	5万3千円	6万																																																																																																																								
貸与月額以上の月数	3回	5回	3回	3回	3回	3回	3回	3回																																																																																																																								
	2回	2回	2回	2回	2回	2回	2回	2回																																																																																																																								
学年	月額の区分	国・公立		私立																																																																																																																												
		自費	自費外	自費	自費外																																																																																																																											
1～3年生	最高月額	2万1千円	2万2千円	3万2千円	3万5千円																																																																																																																											
	貸与月額以上の月数	7回	7回	7回	7回																																																																																																																											
4・5年生(※)	最高月額	4万5千円	5万1千円	5万3千円	6万																																																																																																																											
	貸与月額以上の月数	3回	3回	3回	3回																																																																																																																											
		2回	2回	2回	2回																																																																																																																											

給付

設問に記載されている支援を受けているかどうか、選択・記入してください
 特段なければ、「支援を受けておらず受ける予定もない」を選択してください

貸与(第一種)

左記貸与月額表に基づき、希望する月額を記入してください

貸与(第一種)・最高月額希望者

最高月額が認められなかった場合の希望月額を記入してください

貸与(第一種)

過去に第一種奨学金を受けたことがある場合は「はい」、それ以外は「いいえ」を選択してください

貸与(第一種)・再貸与者

過去に受けていた奨学生番号を記入してください
再貸与制度を確認のうえ、「同意します。」にチェックしてください

希望する奨学金	スクラネット画面表示	入力内容記入欄															
第一種	<p>[2017年度以前入学者(2018年3月以前の入学年月を入力した人)の貸与月額] (単位:円)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>学年</th> <th>国・公立</th> <th>私立</th> <th>私立</th> <th>私立</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1~3年次</td> <td>2万円</td> <td>2万円</td> <td>3万円</td> <td>3万円</td> </tr> <tr> <td>4~5年次</td> <td>4万円</td> <td>5万円</td> <td>5万円</td> <td>6万円</td> </tr> </tbody> </table> <p>2017年度以前入学者は、最高月額の選択制度はありません。</p> <p>(2) あなたの希望する返還方式を選択してください。 (注) 所得連動返還方式を選択した場合、保証制度は「機関保証」になります。 返還方式については「貸与奨学金案内」を参照。</p> <p>(3) 第一種奨学金の再貸与を希望しますか。 第一種奨学金の再貸与とは、過去に第一種奨学金の貸与を受けた人が、同じ学年(大学、短期大学、高等専門学校、専修学校)で再度新たに第一種奨学金の貸与を受けることができる制度です。学校区分、再貸与については「貸与奨学金案内」を参照してください。 過去に同じ学種(学校区分)で第一種奨学金を受けたことがある人は「はい」を選択してください。ただし、採用取消や返還完了となった者のみの場合は再貸与に該当しないため、「いいえ」を選択してください。 「はい」と答えた人はこれまでに今回申込と同学種で貸与を受けた第一種奨学金の奨学生番号を記入してください。</p>	学年	国・公立	私立	私立	私立	1~3年次	2万円	2万円	3万円	3万円	4~5年次	4万円	5万円	5万円	6万円	<p>○所得連動返還方式 ○定額返還方式</p> <p>○はい ○いいえ</p> <p>奨学生番号 0</p> <p>再貸与の程度を表示 ↓ <input type="checkbox"/>同意します。</p>
	学年	国・公立	私立	私立	私立												
1~3年次	2万円	2万円	3万円	3万円													
4~5年次	4万円	5万円	5万円	6万円													
第二種	<p>2. 第二種奨学金を希望する人は次のことに答えてください。</p> <p>(1) あなたの希望する月額を1つ選択してください。 ○2万円 ○3万円 ○4万円 ○5万円 ○6万円 ○7万円 ○8万円 ○9万円 ○10万円 ○11万円 ○12万円</p> <p>(2) あなたは私立大学の医学・薬学・理学・獣医学課程に在学していますか。 「はい」と答えた人でかつ12万円の月額を選択した人のみ月額を希望することができます。 あなたは(医・薬は4万円、薬・獣医は2万円)を希望しますか。 ※貸与月額について確認してください。 前月貸与を希望した人、第二種奨学金で12万円を選択した人に表示されます。 あなたは、併用貸与を希望しています。併用貸与を受けると貸与総額及び毎月の返還額が多額となります。この申込手続終了後、貸与月額が適切であるか再度確認してください。 なお、第二種奨学金の最高月額を選択した場合は、「家庭事情情報」欄に第二種奨学金の最高月額を必要とする「理由」をご記入いただくこととなります。ご記入いただいた「理由」については、学校担当者から確認等を行う場合があります。</p> <p>(3) あなたは何月分から貸与を希望しますか。 (注) 奨学生採用後は貸与定期の変更はできません。 貸与始期について、一次採用(春)で申込みする人は、2025年4月~9月のいずれかの月を入力してください。二次採用(秋)では、2025年10月~2026年3月のいずれかの月を入力してください。次の設問3.で入学時特別奨励貸与奨学金を希望する人は、2025年4月を入力してください。 応急採用を申し込む人は、「貸与奨学金案内」で申請できる貸与始期を参照してください。</p>	<p>○2万円 ○3万円 ○4万円 ○5万円 ○6万円 ○7万円 ○8万円 ○9万円 ○10万円 ○11万円 ○12万円</p> <p>○はい ○いいえ</p> <p>貸与月額が適切である ↓ ○はい ○いいえ</p> <p>年 月</p>															

貸与(第一種)

希望する返還方式を選択してください
・所得連動返還方式
所得に応じて毎年の返還額が決まる
※保証制度が機関補償のみとなる
※トータルの返還額は同じ
・定額返還方式
毎年決まった返還額

貸与(第二種)

希望する月額を選択してください

貸与(第二種)

「いいえ」を選択してください

貸与(第二種)・12万円を選択した方

貸与月額が適切かどうか今一度確認のうえ、「はい」・「いいえ」を選択してください

貸与(第二種)

貸与が開始を希望する年月を希望してください
通常は「2025年4月」
5月から振込開始となった場合でも、4月分も5月にまとめて振り込まれます

希望する奨学金	スクリーンショット画面表示	入力内容記入欄
第二種	<p>3. 入学時特別増額貸与奨学金を希望する人のみ答えてください。 (1) あなたは入学時特別増額貸与奨学金を希望しますか。 <input type="radio"/>はい <input type="radio"/>いいえ</p> <p>1 次に入学生した人および編入学生の人のみ希望することができます。 「入学時特別増額貸与奨学金について」、「入学した学校において1回だけ受けることができます。そのため、すでに入学時に入学時特別増額貸与奨学金の貸与を受けたことがある場合は、「いいえ」を選んでください。 編入の人が編入時に入学時特別増額貸与奨学金を希望する場合は「いいえ」を選択して学校へ申し出てください。 「高等専門学校1、2、3年生は、入学時特別増額貸与奨学金の申込みはできません。 詳しくは「貸与奨学金案内」を参照してください。 「はい」と答えた人は、希望する額を選択してください。</p> <p>4. 第二種奨学金または入学時特別増額貸与奨学金を希望する人は答えてください。 (1) あなたの希望する利率の算定方法を選択してください。 返還時の利率の算定方法については「貸与奨学金案内」を参照してください。</p>	<p><input type="radio"/>10万円 <input type="radio"/>20万円 <input type="radio"/>30万円 <input type="radio"/>40万円 <input type="radio"/>50万円</p> <p><input type="radio"/>利率固定方式 <input type="radio"/>利率見直し方式</p>
	<p>STEP4 ⑥あなたの履歴情報</p> <p>1. あなたの最終学歴を記入してください。 直近を選択 → <input type="radio"/>中学校 <input type="radio"/>高等学校 <input type="radio"/>高等専門学校 <input type="radio"/>短期大学 <input type="radio"/>大学 <input type="radio"/>大学院 <input type="radio"/>専修学校(高等課程) <input type="radio"/>専修学校(専門課程) 卒業又は退学</p> <p>2. あなたは国内の高等学校(本科)を卒業しましたか。 ※ここでいう「高等学校」には、国内の中等教育学校の後期課程、特別支援学校の高等部、高等専門学校(第1学年から第3学年まで)又は専修学校の高等課程(修業年限が3年以上のもの)を含みます(インターナショナルスクールや在外教育施設等は含みません)。 ※現在、高等専門学校の第1学年から第3学年まで在学中の場合は入力不要です。 「はい」と答えた人におきます。 あなたがはじめて国内の高等学校を卒業した年月を記入してください。 高等専門学校を卒業した場合は、第3学年終了年月を入力してください。 「いいえ」と答えた人におきます。 あなたが現在通っている学校への入学前の履歴は次のうちどちらになりますか。 <input type="radio"/>高等学校卒業程度認定試験合格者 <input type="radio"/>その他(インターナショナルスクール、在外教育施設等) 「高等学校卒業程度認定試験合格者」と答えた人におきます。 あなたは高等学校卒業程度認定試験に合格しましたか。 あなたは、高等学校卒業程度認定試験の受験資格を取得した年度(16歳になる年度)から高等学校卒業程度認定試験合格者となった年度まで5年を経過してはいますが、5年を経過した後も毎年度高等学校卒業程度認定試験を受験していましたか。 「は」 「5年を経過した後も毎年度高等学校卒業程度認定試験を受験していた」とは、以下のような場合が該当します。 ・16歳になる年度(2015年度)から5年経過→2020年4月1日以降 ・2020年度、2021年度に高等学校卒業程度認定試験受験(不合格) ・2022年度に高等学校卒業程度認定試験受験(合格) ※2020年度又は2021年度に受験していない場合は、2022年度に合格しても、「5年を経過した後も毎年度高等学校卒業程度認定試験を受験していた」に該当しません。 「その他」と答えた人におきます。 あなたが卒業又は修了した「その他」の学校名(正式名称)とその学校を卒業又は修了した年月を記入してください。 卒業・修了年月または合格年月入力欄の下に、「大学等への入学時期等に関する要件」の選択が表示されます。</p>	<p>西暦 年 月</p> <p>西暦 年 月</p> <p>西暦 年 月</p> <p><input type="radio"/>はい <input type="radio"/>いいえ</p> <p>要件に該当する ↓ <input type="checkbox"/>選択しました</p>
全員	<p>3. 【給付】 あなたはこれまでに、日本学生支援機構の給付奨学金(原則、返還不要)を受けていますか(現在支給が終了しているものを含む)。 <input type="radio"/>はい <input type="radio"/>いいえ</p> <p>【貸与】 あなたはこれまでに、「奨学金申込情報」で入力した他に日本学生支援機構の貸与奨学金(第一種・第二種)(原則、要返還)を受けていますか(現在貸与が終了しているものを含む)。 <input type="radio"/>はい <input type="radio"/>いいえ</p> <p>【注】3ページの奨学金申込情報で入力した奨学生番号以外に、日本学生支援機構の奨学生番号がある場合に「はい」を選びます。 上のいずれかの設問で「はい」を選択した人はその奨学生番号を記入してください。</p> <p>※第一種奨学金を利用している人が給付奨学金を受給する場合、貸与額が削減されます。 ※貸与・給付を受けた奨学金が複数ある場合は、「追加」ボタンを押してすべての奨学生番号を記入してください。 ※奨学生番号の記入を取り消す場合は、「削除」ボタンを押してください。</p>	<p>奨学生番号1 奨学生番号2 奨学生番号3</p> <p>提出取消した奨学生番号の入力は不要です</p>

貸与(第二種)

入学時特別増額貸与の希望の有無を選択してください

貸与(第二種)・特別増額貸与希望者
 該当する項目を選択してください

全員

あなたの最終学歴等について、
 該当するものを選択・記入してください

全員

下書き用紙3pで回答したものの以外に、
 過去・現在含め、受けている奨学金の有無を選択してください。
 ある場合は、奨学生番号を記入してください

希望する奨学金	スカラネット画面表示	入力内容記入欄																				
第 1 種	<p>※第二種奨学金の貸与について確認してください。</p> <p>あなたは、これまでに何の学校区分で2回以上、第二種奨学金の貸与を受けています。三木学生支援機構の規定により、これ以上第二種奨学金を申し込むことができない場合や借りられる期間が制限される場合があります。</p> <p>同一の学校区分(大学・短期大学・高等専門学校・専修学校)で2回以上第二種奨学金の貸与を受けている人に表示されます。</p> <p><input type="checkbox"/>確認しました。</p>																					
第 2 種・第 3 種	<p>STEP5 ⑦保証制度</p> <p>1. あなたが希望する保証制度を選択してください。</p> <p>保証制度については「貸与奨学金案内」を参照。</p> <p>※機関保証制度は、連帯保証人や保証人の選任が不要です (一定の保証料が毎月の奨学金から差し引かれます)。</p> <p>※人的保証制度は、選任する連帯保証人や保証人に事前に了解をとっておく必要があります。</p> <p><input type="checkbox"/>制度の内容について承知し、機関保証を選択します。</p> <p><input type="checkbox"/>制度の内容について承知し、人的保証を選択します。</p> <p>併願又は併用で申し込み(次の選択肢を選択した場合)、かつ第一種奨学金の返還方法を「所得運動返還方式」と選択した場合、次の設問を表示します。</p> <p>(2) 第1希望: 第一種奨学金 第2希望: 第二種奨学金 (4) 第1希望: 第一種奨学金と第二種奨学金(併用) (5) 第1希望: 第一種奨学金と第二種奨学金(併用) 第2希望: 第一種奨学金 (6) 第1希望: 第一種奨学金と第二種奨学金(併用) 第2希望: 第一種奨学金 第3希望: 第二種奨学金 (7) 第1希望: 第一種奨学金と第二種奨学金(併用) 第2希望: 第二種奨学金</p> <p>1. 第一種奨学金についてあなたが希望する保証制度を選択してください。</p> <p>所得運動返還を希望する場合、保証制度は「機関保証」のみになります。「人的保証」は選択できません。</p> <p><input checked="" type="radio"/>機関保証</p> <p>※機関保証制度は、連帯保証人や保証人の選任が不要です (一定の保証料が毎月の奨学金から差し引かれます)。</p> <p><input type="checkbox"/>制度の内容について承知し、機関保証を選択します。</p> <p>2. 第二種奨学金についてあなたが希望する保証制度を選択してください。</p> <p>※機関保証制度は、連帯保証人や保証人の選任が不要です (一定の保証料が毎月の奨学金から差し引かれます)。</p> <p>※人的保証制度は、選任する連帯保証人や保証人に事前に了解をとっておく必要があります。</p> <p><input type="checkbox"/>制度の内容について承知し、人的保証を選択します。</p>																					
全員	<p>STEP6 ⑧貸与奨学金返還誓約書情報・給付奨学金本人情報</p> <p>1. あなた自身について入力してください。</p> <p>(1) あなたのお名前: 自動表示 さんですね。</p> <p>(2) あなたの性別を選択してください。(任意) <input checked="" type="radio"/>男 <input type="radio"/>女 <input type="radio"/>回答したくない</p> <p>(3) あなたの生年月日は 自動表示 ですね。</p> <p>(4) あなたの現住所を記入してください。</p> <p>※申込者本人のマイナンバーを申込書に提出できない場合は、住民票住所を入力してください。</p> <p>(重要) 住所入力について以下参照</p> <p>郵便番号 <input type="text"/> 郵便番号入力欄</p> <p>住所1(自動入力) <input type="text"/> 住所1(自動入力)</p> <p>住所2(番地以降) <input type="text"/> 住所2(番地以降)</p> <p>(5) あなたの電話番号を記入してください。</p> <p>※白電話番号がなければ携帯電話の番号を記入してください。</p> <p>自宅 携帯</p> <p>(重要) 住所の入力について</p> <table border="1"> <tr> <td>郵便番号</td> <td>1 6 2 - 0 8 4 5</td> <td>住所検索</td> <td>←①郵便番号を入力して「住所検索」をクリックします。</td> </tr> <tr> <td>住所1(自動入力)</td> <td>東京都 新宿区 庄谷本町 1丁目</td> <td></td> <td>←②住所1に表示された中から正しい住所を選択してください。</td> </tr> <tr> <td></td> <td>東京都 新宿区 庄谷本町 2丁目</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>東京都 新宿区 庄谷本町 3丁目</td> <td></td> <td>(注意) 丁目まで自動入力します。</td> </tr> <tr> <td>住所2(番地以降)</td> <td>1 0 - 7 南英ハイツA 1 0 1</td> <td></td> <td>←③住所1の() 丁目を重複しないように全角で入力してください。</td> </tr> </table> <p>※番地以降の住所が無い場合は、「住所2」に「(ピリオド)」を入力してください。</p> <p>※海外の住所・電話番号は入力できません。国内の連絡が取れる住所・電話番号を入力してください。</p>	郵便番号	1 6 2 - 0 8 4 5	住所検索	←①郵便番号を入力して「住所検索」をクリックします。	住所1(自動入力)	東京都 新宿区 庄谷本町 1丁目		←②住所1に表示された中から正しい住所を選択してください。		東京都 新宿区 庄谷本町 2丁目				東京都 新宿区 庄谷本町 3丁目		(注意) 丁目まで自動入力します。	住所2(番地以降)	1 0 - 7 南英ハイツA 1 0 1		←③住所1の() 丁目を重複しないように全角で入力してください。	
郵便番号	1 6 2 - 0 8 4 5	住所検索	←①郵便番号を入力して「住所検索」をクリックします。																			
住所1(自動入力)	東京都 新宿区 庄谷本町 1丁目		←②住所1に表示された中から正しい住所を選択してください。																			
	東京都 新宿区 庄谷本町 2丁目																					
	東京都 新宿区 庄谷本町 3丁目		(注意) 丁目まで自動入力します。																			
住所2(番地以降)	1 0 - 7 南英ハイツA 1 0 1		←③住所1の() 丁目を重複しないように全角で入力してください。																			
第 1 種・第 2 種(機関保証)	<p>2. 本人以外の連絡先について</p> <p>あなたは保証制度審査で「機関保証」を選択しています。あなた以外の連絡先について入力してください。</p> <p>機関保証を選択した人は、あなた(本人)以外の連絡先を記入する必要があります。あなたに連絡する重要な書類が届かない場合等に、ここに入力した連絡先に、あなたの住所・電話番号を照会することがあります。</p> <p>(注意)「本人以外の連絡先」を入力する前に、必ずその人の承諾を得てください。ここで入力した「本人以外の連絡先」は採用されると返還誓約書に印字されます。万一、返還誓約書に自署してもらえないと不備となり奨学金の資格を失うこととなります。</p>																					

貸与(第一種・第二種)

奨学金案内ダイジェストの保証制度をご確認のうえ、希望する保証制度を選択のうえ、該当項目にチェックしてください

全員

あなたの最終学歴等について、該当するものを選択・記入してください

全員

あなたの“現住所”を記入してください
※マイナンバーが提出できない方に限り、住民票住所を記入

全員

電話番号を記入してください
携帯電話番号しかない場合は、「携帯」項目のみ記入してください

希望する奨学金	スカラネット画面表示	入力内容記入欄
第 1 種・第 2 種 (給付奨学金)	(1) その氏名 漢字氏名 (全角5文字以内) カナ氏名 (全角15文字以内)	姓 名
	(2) その生年月日	西暦 年 月 日生
	(3) あなたとの続柄	あなたからみた続柄です。(例) 父、母、...
	(4) その住所 (重要) 住所入力についてページ参照	郵便番号 住所1 (自動入力) 住所2 (替地以降)
	(5) その電話番号 ※自宅電話番号がなければ携帯電話の電話番号で構いません。	自宅 携帯
	2. 連帯保証人と保証人について あなたは保証制度面で「人的保証」を請求しています。連帯保証人及び保証人について入力してください。 連帯保証人・保証人の選任条件は必ず「貸与奨学金案内」を確認してください。	
	(1) 連帯保証人について入力してください。 ・原則として、父兄・兄弟姉妹又はおじ・おば等にしてください。 ・未成年者等保証能力がない人は認められません。 ・債務整理（破産等）中の人を連帯保証人に選任することは認められません。	
	(a) その氏名 漢字氏名 (全角5文字以内) カナ氏名 (全角15文字以内)	姓 名
	(b) その生年月日	西暦 年 月 日生
	(c) あなたとの続柄	あなたからみた続柄です。(例) 父、母、...
未成年後見人の場合は、その続柄		
(d) その住所 ・連帯保証人の「印鑑登録証明書（市区町村発行）」に記載されている住所を入力してください。 ※印鑑登録証明書には住民票と同じ住所が記載されています。	郵便番号 住所1 (自動入力) 住所2 (替地以降)	
(e) その電話番号 ※自宅電話番号がなければ携帯電話の電話番号で構いません。	自宅 携帯	
(f) その勤務先 勤務先名を記入してください。 自営業の場合は「自営業」、無業の場合は「無業」と記入してください。 無職の場合は入力不要です。	勤務先名 無職	
勤務先電話番号 ※連帯保証人が無職の場合は、下記にチェックを入力してください。		無職
(2) 保証人について入力してください。 ・原則として、4親等以内の成年親族のうち、あなた及び連帯保証人と別生計の65歳未満の人を選んでください。 ・未成年者等保証能力がない人は認められません。 ・債務整理（破産等）中の人を保証人に選任することは認められません。		
(a) その氏名 漢字氏名 (全角5文字以内) カナ氏名 (全角15文字以内)	姓 名	
(b) その生年月日	西暦 年 月 日生	
(c) あなたとの続柄	あなたからみた続柄です。(例) おじ、おば、...	
*以下の場合は「その他（知人等）」と記入（選択）してください。 ・離婚した父母・本人が養子縁組している場合の実父母・配属者の父母（義父母） ・「父（母）」や「その他（4親等以内）」を誤記しないでください。		
(d) その住所 ・保証人の「印鑑登録証明書（市区町村発行）」に記載されている住所を入力してください。 ※印鑑登録証明書には住民票と同じ住所が記載されています。	郵便番号 住所1 (自動入力) 住所2 (替地以降)	

貸与(第一種・第二種)機関補償

保証制度について「機関補償」を選択した方は、本人以外の連絡先（保証人等）の情報を記入してください
なお、記入する際は、該当者の承諾を得るようにしてください。

貸与(第一種・第二種)人的補償

保証制度について「人的補償」を選択した方は、連帯保証人、保証人の情報を記入してください。
なお、記入する際は、該当者の承諾を得るようにしてください。

【連帯保証人】
原則、父母・兄弟姉妹又はおじ・おば等
【保証人】
原則、4親等以内の青年親族のうち、あなた及び連帯保証人と別生計の65歳未満の方

連帯保証人、保証人ともに、債務整理中の人を選任できません。

希望する奨学金	スカラネット画面表示	入力内容記入欄
第一種・第二種（入約保証）	<p>(e) その電話番号 ※自宅電話番号がなければ携帯電話の電話番号で構いません。</p> <p>(f) その勤務先 勤務先名を記入してください 自営業の場合は「自営業」、農業の場合は「農業」と記入してください。 無職の場合は入力不要です。</p> <p>勤務先電話番号</p> <p>※保証人が無職の場合は、下記にチェックを入力してください。</p> <p>(g) 連帯保証人と保証人は別姓計ですね。</p> <p>※連帯保証人、保証人に相応しい人物かどうか、入力情報を元に判定を行います。性別による判定では、各人物の生年月日（※あなたの氏名・誓約情報で入力した年月日）時点での年齢を元に判定を行います。</p> <p>連帯保証人・保証人について ①保証制度で「人的保証」を選択した人は、連帯保証人及び保証人を1人ずつ（合計2人）入力する必要があります。 連帯保証人は、奨学金の返還についてあなたと同等の責任を負います。 保証人には、「分別の利益」が適用されます。また、「扶養の拒否権」及び「催告の拒否権」があります（連帯保証人には適用されません）。 詳しくは、「貸与奨学金案内」を参照してください。 また、選任した連帯保証人・保証人が誓約の定める条件を満たすかどうかチェックしてください。選任条件を全て満たし、かつ必要書類を提出できる場合は、連帯保証人・保証人として選任できますので、同一ページ（1）、（2）を記入してください。 もし、1つでも選任条件を満たさない、又は必要書類を提出できない場合は、連帯保証人・保証人として選任できません。 あらかじめ条件に合致する別の人を選任しなおしてください。条件に合致する人を選任できない場合は、 ②保証制度で「機関保証」を選択し、保証制度を変更してください。 採用時に提出しなければならない書類（返還誓約書）には、スカラネットで入力した連帯保証人及び保証人が自署・捺印（実印）し、印鑑登録証明書等を添付しなければなりません。スカラネット入力前に、連帯保証人・保証人として予定している人に役割、自署・捺印、提出書類について説明し、奨学金の返還について引き受けることの承諾を得てください。</p> <p>→あなたが未成年（18歳未満）の人は、「4. 親権者（未成年後見人）について」の設問が表示されます。</p>	<p>自宅 <input type="text"/></p> <p>携帯 <input type="text"/></p> <p>勤務先名 <input type="text"/></p> <p>自営業の場合は「自営業」、農業の場合は「農業」と記入してください。 無職の場合は入力不要です。</p> <p>勤務先電話番号 <input type="text"/></p> <p>「無職」 <input type="checkbox"/></p> <p>はい <input type="radio"/> いいえ <input type="radio"/></p> <p>性別による判定では、各人物の生年月日（※あなたの氏名・誓約情報で入力した年月日）時点での年齢を元に判定を行います。</p>
	全員	<p>STEP7 @あなたの家族情報</p> <p>1. あなたは社会的養護を必要とする人ですか。 <input type="radio"/> はい <input type="radio"/> いいえ</p> <p>「はい」と答えた人は、おてはまるものを選択してください。</p> <p><input type="checkbox"/> 児童養護施設入所者等 <input type="checkbox"/> 児童自立支援施設入所者等 <input type="checkbox"/> 児童心理治療施設入所者等 <input type="checkbox"/> 児童福祉ホーム入所者等 <input type="checkbox"/> 三親に養育されている（いた）人 <input type="checkbox"/> ファミリーホームで養育されている（いた）人</p> <p>「はい」を選択する人は、施設に入所していた（入所している）、又は三親による養育を受けていたことがわかる日付が記載された証明書類の提出が必要です。 （証明書類の例） 施設等在籍証明書（施設長発行）、児童（早期）委託証明書（児童相談所発行）、措置解除決定通知書（児童相談所発行）等 ※養育の所定様式「施設等在籍・退所証明書」でも可。</p> <p>2. 生計維持者（原則父母、父母がいない場合は代わって生計を維持する人）について入力してください。 1. で「はい」と回答した人については、生計維持者について一部自動表示されます。</p> <p>※父母がいる場合は、取人の有無に関わらず必ず父母ともに生計維持者として入力が必要ですが（離婚等により完全に親生）の人を除く）。</p> <p>生計維持者については、必ず「給付奨学金案内」、「貸与奨学金案内」を参照してください。 生計維持者とは、あなたの生計を維持する人という意味であり、原則父母（父母ともいる場合2人とも）としています。 無収入の場合でも、生計維持者として入力する必要があります。入力済みが確認してください。生計維持者として入力した人物についてマイナンバーを提出する必要があります。離婚後に父母が再婚（事実婚含む）している場合は、再婚相手も生計維持者として入力する必要があります。</p> <p>(1) あなたの生計維持者の人数を選択してください。 <input type="radio"/> 1人 <input type="radio"/> 2人</p> <p>(2) 生計維持者①（父母のいずれか、父母がいない場合は代わって生計を維持する人） 生計維持者①の入力は必須です。</p> <p>(a) あなたの続柄 <input type="text"/></p> <p>養子縁組の有無に問わず、再婚相手の続柄は父又は母を選択してください。 あなたからみた続柄です。(例) 父、母</p> <p>(b) 生計維持者①の氏名 <input type="text"/></p> <p>姓 <input type="text"/> 名 <input type="text"/></p> <p>漢字氏名 (全角5文字以内)</p> <p>カナ氏名 (全角15文字以内)</p> <p>(c) 生計維持者①の住所 郵便番号 <input type="text"/> 4番地まで入力されます</p> <p>(重要) 住所入力について10ページ参照 住所1 (自動入力) <input type="text"/></p> <p>住所2 (借地以降) <input type="text"/></p> <p>(d) 生計維持者①の生年月日 <input type="text"/> 西暦 年 月 日</p>

貸与(第一種・第二種)人的補償
全ページをご覧のうえ、記入してください

全員
社会的養護に該当するかどうか選択してください
社会的養護は、次の設問に該当するかどうかで判断してください
※過去に児童養護施設に等に入っていた方も該当します

全員
生計維持者の情報を記入してください
詳細は奨学金案内にあります
父母がいる場合は、原則父母2人が生計維持者になりますのでそのうち1名を記入してください
虚偽記載があった場合、遡及取消の可能性もありますので、正確にご記入ください。

希望する奨学金	スクリーンショット画面表示	入力内容記入欄
第一種・第二種	<p>(e) 生計維持者①は2023年1月2日以降に転職しましたか。 ※転職している場合でも、減収していない場合には、「いいえ」を選択してください。 「はい」を選択した場合も、マイナンバーで連携した情報（2023年1月～2023年12月の収入情報）にて審査を行います。ただし、選考結果によっては、画面による直近の給与明細等の提出により、再審査を希望することができます。 次から選択してください。 ○第一希望の貸与奨学金が不採用となる場合、給与明細等を画面で提出し、再審査を希望します。 ※再審査を希望する場合には、直近で生計維持者の給与明細等の提出が必要になることがあります。また、書面審査には1～2か月かかりますので、選考が大幅に遅れることがあります。 □上記の内容を基に、直近の給与明細等を画面で提出する審査を希望します。 ○直近の給与明細等を画面で提出する審査を希望しません。 ※なお、給付奨学金については、直近の給与明細等での審査は行いません。</p>	<input type="radio"/> はい <input type="radio"/> いいえ <small>二次採用（秋）で申請する場合は、2023年を2024年に読み替えてください。 緊急採用・応急採用に申し込む人は、表示されません。</small>
全員	<p>(f) 生計維持者①は2024年1月1日の時点で日本国内に住んでいましたか。 二次採用（秋）で申し込む場合は、2024年を2025年に読み替えてください。 家計急変採用、緊急採用、応急採用に申し込む人でスクリーン入力完了日（申請日）が2025年10月以降になる人は、2024年を2025年に読み替えてください。</p> <p>(g) 生計維持者②（父、母など） 父母のうち生計維持者①に入力していない人を、必ず入力してください。 ※一人親の場合は（3）の入力は不要です。 ※父母ともいない場合で代わって生計を維持している人がいるときは、主に生計を維持している人（2）に入力してください。（3）の入力は不要です。</p> <p>(a) あなたの続柄 親子縁組の有無に関わらず、再婚相手の続柄は父又は母を選択してください。あなたからみた続柄です。（例）父、母</p> <p>(b) 生計維持者②の氏名 「給付奨学金案内」、「貸与奨学金案内」を参照し、入力してください。 漢字氏名（全角5文字以内） カナ氏名（全角15文字以内）</p> <p>(c) 生計維持者②の住所 （重要）住所入力について10ページ参照 郵便番号 住所1（自動入力） 住所2（番地以降）</p> <p>(d) 生計維持者②の生年月日 西暦 年 月 日</p>	<input type="radio"/> はい <input type="radio"/> いいえ
第一種・第二種	<p>(e) 生計維持者②は2023年1月2日以降に転職しましたか。 ※転職している場合でも、減収していない場合には、「いいえ」を選択してください。 「はい」を選択した場合も、マイナンバーで連携した情報（2023年1月～2023年12月の収入情報）にて審査を行います。ただし、選考結果によっては、画面による直近の給与明細等の提出により、再審査を希望することができます。 次から選択してください。 ○第一希望の貸与奨学金が不採用となる場合、給与明細等を画面で提出し、再審査を希望します。 ※再審査を希望する場合には、直近で生計維持者の給与明細等の提出が必要になることがあります。また、書面審査には1～2か月かかりますので、選考が大幅に遅れることがあります。 □上記の内容を基に、直近の給与明細等を画面で提出する審査を希望します。 ○直近の給与明細等を画面で提出する審査を希望しません。 ※なお、給付奨学金については、直近の給与明細等での審査は行いません。</p>	<input type="radio"/> はい <input type="radio"/> いいえ <small>二次採用（秋）で申請する場合は、2023年を2024年に読み替えてください。 緊急採用・応急採用に申し込む人は、表示されません。</small>

貸与(第一種・第二種)

今回の申請では、一昨年の収入で審査を行います
一昨年に比べて現在の収入が減少している場合、
不採択になった場合でも現在の収入で再審査を
することができます。
再審査希望の有無についてチェックしてください

全員

全ページにて入力した生計維持者①の件に
ついて、該当する項目をチェックしてください

全員

生計維持者の情報を記入してください
詳細は奨学金案内にあります
父母がいる場合は、原則父母2人が生計維持者にな
りますのでそのうち1名を記入してください
一人親の場合は入力不要です
虚偽記載があった場合、遡及取消の可能性も
ありますので、正確にご記入ください。

貸与(第一種・第二種)

今回の申請では、一昨年の収入で審査を行います
一昨年に比べて現在の収入が減少している場合、
不採択になった場合でも現在の収入で再審査を
することができます。
再審査希望の有無についてチェックしてください

希望する奨学金	スカラネット画面表示	入力内容記入欄								
	<p>(f) 生計維持者②は2024年1月1日の時点で日本国内に生んでいましたか。 二次採用 (g) で申し込む場合は、2024年を2025年に読み替えてください。</p> <p>家計急変採用、緊急採用・応急採用に申し込む人でスカラネット入力完了日 (申請日) が2025年10月以降になる人は、2024年を2025年に読み替えてください。</p> <p>3. 2023年12月31日時点の生計維持者①と生計維持者②の扶養親族を全員入力してください。</p> <p>※1 生計維持者が住居費等の申告を行った扶養親族を把握のうえ、入力してください。 (確認できる書類) 年末調整の令和5年分扶養控除等 (異動) 申告書の写し、令和5年分給与所得の源泉徴収票、令和5年分確定申告書の写し (扶養控除が記載されている部分) など</p> <p>※2 「1人目の情報」として、あなた自身の情報が自動で入力されています。あなた自身が生計維持者の扶養親族 (※1の条件を満たす場合) であるか確認してください。あなた自身が生計維持者の扶養親族でない場合は、「1人目の情報」を削除してください。</p> <p>※3 生計維持者の配偶者は、扶養されているとしても入力しないでください。 (扶養親族にあたらぬため)</p> <p>※4 2023年12月31日より後に生まれた子どもは含みません。(ただし、別途申告することにより子どもを含める場合があるため、学校の奨学金担当窓口にご相談ください。)</p> <p>※5 入力された扶養親族情報のうち子どもに該当する人数及び関係情報によって、多子世帯の判定が行われます。なお、子どもに該当する人数は「申込者本人」、「生計維持者の子」及び「その他 (年下)」(それぞれ※1の条件を満たす場合) の合計となります。</p>	<input type="radio"/> はい <input type="radio"/> いいえ								
	<p>1人目の情報 生計維持者との関係 <input checked="" type="radio"/> 申込者本人 <input type="radio"/> 生計維持者の子ども <input type="radio"/> その他 扶養している生計維持者より年下か <input checked="" type="radio"/> 年下 (同じ生年月日を含む) <input type="radio"/> 年上</p> <p>2人目の情報 生計維持者との関係 <input type="radio"/> 申込者本人 <input type="radio"/> 生計維持者の子ども <input type="radio"/> その他 扶養している生計維持者より年下か <input type="radio"/> 年下 (同じ生年月日を含む) <input type="radio"/> 年上</p> <p>3人目の情報 生計維持者との関係 <input type="radio"/> 申込者本人 <input type="radio"/> 生計維持者の子ども <input type="radio"/> その他 扶養している生計維持者より年下か <input type="radio"/> 年下 (同じ生年月日を含む) <input type="radio"/> 年上</p> <p>[追加 (もう1人)] [スカラネット入力時にボタンを押すことができます。]</p>	<input type="radio"/> はい <input type="radio"/> いいえ								
	<p>4. 2024年12月31日時点の生計維持者①と生計維持者②の扶養親族を全員入力してください。</p> <p>※1 生計維持者が住居費等の申告を行った扶養親族を把握のうえ、入力してください。 (確認できる書類) 年末調整の令和6年分扶養控除等 (異動) 申告書の写し、令和6年分給与所得の源泉徴収票、令和6年分確定申告書の写し (扶養控除が記載されている部分) など</p> <p>※2 「1人目の情報」として、あなた自身の情報が自動で入力されています。あなた自身が生計維持者の扶養親族 (※1の条件を満たす場合) であるか確認してください。あなた自身が生計維持者の扶養親族でない場合は、「1人目の情報」を削除してください。</p> <p>※3 生計維持者の配偶者は、扶養されているとしても入力しないでください。 (扶養親族にあたらぬため)</p> <p>※4 2024年12月31日より後に生まれた子どもは含みません。(ただし、別途申告することにより子どもを含める場合があるため、学校の奨学金担当窓口にご相談ください。)</p> <p>※5 入力された扶養親族情報のうち子どもに該当する人数及び関係情報によって、多子世帯の判定が行われます。なお、子どもに該当する人数は「申込者本人」、「生計維持者の子」及び「その他 (年下)」(それぞれ※1の条件を満たす場合) の合計となります。</p>	<input type="radio"/> はい <input type="radio"/> いいえ								
	<p>前年度の入力を反映 [スカラネット入力時にボタンを押すと反映されます。]</p> <p>1人目の情報 生計維持者との関係 <input checked="" type="radio"/> 申込者本人 <input type="radio"/> 生計維持者の子ども <input type="radio"/> その他 扶養している生計維持者より年下か <input checked="" type="radio"/> 年下 (同じ生年月日を含む) <input type="radio"/> 年上</p> <p>2人目の情報 生計維持者との関係 <input type="radio"/> 申込者本人 <input type="radio"/> 生計維持者の子ども <input type="radio"/> その他 扶養している生計維持者より年下か <input type="radio"/> 年下 (同じ生年月日を含む) <input type="radio"/> 年上</p> <p>3人目の情報 生計維持者との関係 <input type="radio"/> 申込者本人 <input type="radio"/> 生計維持者の子ども <input type="radio"/> その他 扶養している生計維持者より年下か <input type="radio"/> 年下 (同じ生年月日を含む) <input type="radio"/> 年上</p> <p>[追加 (もう1人)] [スカラネット入力時にボタンを押すことができます。]</p>	<input type="radio"/> はい <input type="radio"/> いいえ								
	<p>5. 2024年1月1日時点で、あなたの世帯は生活保護を受けていましたか。</p> <p>6. 2025年1月1日時点で、あなたの世帯は生活保護を受けていましたか。</p>	<input type="radio"/> はい <input type="radio"/> いいえ <input type="radio"/> はい <input type="radio"/> いいえ								
給付	<p>7. あなたと生計維持者 (原則父母) の資産の額をそれぞれ入力してください。 (1万円未満切り捨て) ※対象となる資産の範囲：現金及びこれに準ずるもの、預貯金並びに有価証券の合計 (不動産は対象としない)。</p>	<table border="1"> <tr> <td>あなた</td> <td>万円</td> </tr> <tr> <td>生計維持者①</td> <td>万円</td> </tr> <tr> <td>生計維持者②</td> <td>万円</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>万円</td> </tr> </table>	あなた	万円	生計維持者①	万円	生計維持者②	万円	合計	万円
あなた	万円									
生計維持者①	万円									
生計維持者②	万円									
合計	万円									

全員

全ページにて入力した生計維持者②の件について、該当する項目をチェックしてください

全員

2023年12月31日時点での生計維持者①と②が扶養する扶養親族を記入してください
 確認方法は、令和5年分の源泉徴収票や確定申告書等で確認できます
 対象は「学生本人」「生計維持者の子」「学生本人より年下の扶養親族」になります
 生計維持者である父親に母親や祖父母が扶養されている場合は人数に含まれません。

全員

2024年12月31日時点での生計維持者①と②が扶養する扶養親族を記入してください
 確認方法は、令和6年分の源泉徴収票や確定申告書等で確認できます
 対象は「学生本人」「生計維持者の子」「学生本人より年下の扶養親族」になります
 生計維持者である父親に母親や祖父母が扶養されている場合は人数に含まれません。

給付

申請者本人、生計維持者①・②の資産額を記入してください。

全員

それぞれの時点にて生活保護を受けていたかどうか、チェックしてください

希望する奨学金	スカラネット画面表示	入力内容記入欄																						
<p>◆一人親家庭</p> <p>8. 父又は母のいずれかのみを「生計維持者」としている理由について、次のうち該当するものを選択してください。</p> <p>⑧あなたの家族情報②にて、父又は母のいずれかのみを生計維持者としている場合にのみ表示されます。「離婚等」については、単なる不仲による別居は認められません。また、「その他」に入力する場合はできるだけ具体的に記入してください。</p> <p><input type="checkbox"/> 父又は母と死別した。</p> <p><input type="checkbox"/> 父母の離婚等により、父母のいずれかどなたし（本人）は別生計である。</p> <p>※「離婚等」には、離婚調停中、DVによる別居中、又は夫婦の別居中なども含まれます。</p> <p><input type="checkbox"/> 父又は母が、生死不明、意識不醒、精神疾患等のため、意思疎通ができない。</p> <p><input type="checkbox"/> その他</p>																								
<p>◆父母以外</p> <p>9. 生計維持者に父母以外の人を入力した理由について、次のうち該当するものを選択してください。（複数選択可）</p> <p>⑨あなたの家族情報②にて、父母以外の人を生計維持者としている場合にのみ表示されます。父母以外の人を生計維持者にした理由として、父母と単に不仲であることは認められません。なお、ここでの「生計維持者が父母以外」（1名）となるケースは以下のような場合です。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・重婚（父母）と死別し、おじ夫婦と生活している。 ・おじ夫婦のうち、あなたの生計を主に維持している方（1名）が「生計維持者」となります。 ・重婚（父母）が生死不明のため、未成年後見人（祖父）と生活している。 ・重婚（父母）と死別した。 ・重婚（父母）が生死不明、意識不醒、精神疾患等のため、意思疎通ができない。 ・わたし（本人）は結婚しており、重婚ではなく、生計維持者欄に記載した配偶者に扶養されている（納税記録にのびて、わたしの夫（妻）の扶養に入っている） ・その他 																								
<p>◆＜共通＞一人親家庭・父母以外</p> <p>必要に応じて、上記の事実関係を確認できる証明書類の提出を後日求める場合があります。上記の申告に間違いありませんか。</p> <p style="text-align: right;"><input type="radio"/> はい <input type="radio"/> いいえ</p> <p>⑩あなたの家族情報②にて、父又は母のいずれかのみを生計維持者としている場合、または父母以外の人を生計維持者としている場合にも表示されます。生計維持者の考え方については、「給付奨学金案内」、「貸与奨学金案内」及び機構ホームページに掲載している「生計維持者について」[生計維持者に係るQ&A]を併せてご確認ください。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>事象</th> <th>証明書類（例）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>父又は母のいずれかのみを生計維持者としている場合【共通】</td> <td>・ 離婚届（再婚（夫）控除の適用が分かるもの） ・ 児童扶養手当証書、支給証明書等</td> </tr> <tr> <td>上記の書類を提出できない場合</td> <td></td> </tr> <tr> <td>父母と死別</td> <td>・ 戸籍謄本、抄本 ・ 住民票（死亡記載あり）</td> </tr> <tr> <td>父母が離婚</td> <td>・ 戸籍謄本、抄本</td> </tr> <tr> <td>父母が離婚調停中</td> <td>・ 裁判所による係属証明書 ・ 弁護士による報告書</td> </tr> <tr> <td>父又は母がDV被害</td> <td>・ 自治体等による「配偶者からの暴力の被害者の保護に関する証明書」</td> </tr> <tr> <td>父又は母が生死不明</td> <td>・ 自治体や警察等による「行方不明者届受理証明」</td> </tr> <tr> <td>父又は母が意識不醒、精神疾患</td> <td>・ 主治医による「診断書」</td> </tr> <tr> <td>学生本人が両親ではなく配偶者に扶養されている</td> <td>・ 戸籍謄本、抄本 及び ・ 離婚届（配偶者控除の適用が分かるもの）</td> </tr> <tr> <td>その他の事由</td> <td>・ 事実関係を確認できる書類（第三者（機関）の意見等）</td> </tr> </tbody> </table>			事象	証明書類（例）	父又は母のいずれかのみを生計維持者としている場合【共通】	・ 離婚届（再婚（夫）控除の適用が分かるもの） ・ 児童扶養手当証書、支給証明書等	上記の書類を提出できない場合		父母と死別	・ 戸籍謄本、抄本 ・ 住民票（死亡記載あり）	父母が離婚	・ 戸籍謄本、抄本	父母が離婚調停中	・ 裁判所による係属証明書 ・ 弁護士による報告書	父又は母がDV被害	・ 自治体等による「配偶者からの暴力の被害者の保護に関する証明書」	父又は母が生死不明	・ 自治体や警察等による「行方不明者届受理証明」	父又は母が意識不醒、精神疾患	・ 主治医による「診断書」	学生本人が両親ではなく配偶者に扶養されている	・ 戸籍謄本、抄本 及び ・ 離婚届（配偶者控除の適用が分かるもの）	その他の事由	・ 事実関係を確認できる書類（第三者（機関）の意見等）
事象	証明書類（例）																							
父又は母のいずれかのみを生計維持者としている場合【共通】	・ 離婚届（再婚（夫）控除の適用が分かるもの） ・ 児童扶養手当証書、支給証明書等																							
上記の書類を提出できない場合																								
父母と死別	・ 戸籍謄本、抄本 ・ 住民票（死亡記載あり）																							
父母が離婚	・ 戸籍謄本、抄本																							
父母が離婚調停中	・ 裁判所による係属証明書 ・ 弁護士による報告書																							
父又は母がDV被害	・ 自治体等による「配偶者からの暴力の被害者の保護に関する証明書」																							
父又は母が生死不明	・ 自治体や警察等による「行方不明者届受理証明」																							
父又は母が意識不醒、精神疾患	・ 主治医による「診断書」																							
学生本人が両親ではなく配偶者に扶養されている	・ 戸籍謄本、抄本 及び ・ 離婚届（配偶者控除の適用が分かるもの）																							
その他の事由	・ 事実関係を確認できる書類（第三者（機関）の意見等）																							
<p>◆申込者本人</p> <p>10. 生計維持者はあなた自身（独立生計者）を入力した理由について、次のうち該当するものを選択してください。</p> <p>⑩あなたの家族情報②にて、あなた自身を生計維持者（独立生計者）としている場合にのみ表示されます。あなた自身を生計維持者にした理由として、父母と不仲であることは認められません。また、あなたの収入及び奨学金等で生活しているという状況であったとしても、父母がいる場合は、原則父母が生計維持者となります。</p> <p><input type="checkbox"/> 重婚（父母）と死別し、祖父母や叔父・叔母等の親族から経済的支援を受けていない。</p> <p><input type="checkbox"/> 父や、祖父母ともに死別し、兄弟姉妹は就学中もしくは病氣などの理由で働くことができない。</p> <p><input type="checkbox"/> わたし（本人）は結婚しており、配偶者等を扶養している。</p> <p><input type="checkbox"/> その他</p> <p>申告いただいた内容について、後日確認させていただく場合があります。上記の申告に間違いありませんか。</p> <p style="text-align: right;"><input type="radio"/> はい <input type="radio"/> いいえ</p>																								

生計維持者が一人

生計維持者を父または母の一人のみで申告された方は、該当するものを選択、いずれにも該当しない場合は、その他を選択し、自由項目に記載してください

生計維持者が父母以外

生計維持者を父母以外で申告された方は、該当するものを選択、いずれにも該当しない場合は、その他を選択し、自由項目に記載してください

生計維持者が一人または父母以外

生計維持者が一人または父母以外で申告された方は、後日証拠書類の提出を求める可能性があること、そして当該事実間違いがないか、チェックをしてください

生計維持者が申込者本人のみ

生計維持者を申込者本人で申告された方は、該当するものを選択、いずれにも該当しない場合は、その他を選択し、自由項目に記載してください。また、後日証拠書類の提出を求める可能性があること、そして当該事実間違いがないか、チェックをしてください

以下の設問は、申込画面においては「○ 緊急申請情報」の設問（16ページ）の後に表示されます。**緊急採用・応急採用の申込者のみ入力してください。**
 (定形採用と緊急採用・応急採用では、設問数が異なるため、設問番号を「○-」としていますが、実際の画面では設問番号が表示されません。)

○-緊急・応急採用情報

1. 家計が急変した生計維持者の人数を入力してください。
 人 ※急変した生計維持者は最大2人です。

【注意事項】 家計が急変した事由が以下の場合、その急変者については「○-あなたの家族情報」画面に生計維持者として登録しないよう
 ようにしてください。
 1) 生計維持者が死亡 15) 父母等による暴力等から避難 16) 生計維持者との離別（離婚・行方不明等）

以下の「入力済みの生計維持者を確認する」により、あなたが入力した生計維持者を確認できます。「記の事由の場合、急変者を生計維持者として入力していないか確認してください。生計維持者として入力している場合は、「○-あなたの家族情報」画面に戻り、生計維持者の情報を修正してください。
 ※ 矢印を押すことで入力済みの生計維持者が表示されます。

2. 家計が急変した状況について、急変者ごとに入力してください。

(1) 急変者1（家計が急変した生計維持者1人目）

(a) あなたからみた急変者1の経歴を選択してください。
 父 母 その他 → ※該当する経歴を選択してください。

(b) 家計が急変した事由（該当する事由を1つ選択してください）

1) 生計維持者が死亡
 ※死亡した人物については、「○-あなたの家族情報」画面に生計維持者として登録しないでください。（上記【注意事項】参照）
 ※被災等により、生計維持者が死亡した場合は、「○-家族事情情報」画面に被災した災害（災害が発生した日付、被災地域）を入力してください。

2) 事故、病気等
 以下の該当するものを選択してください。（いずれにも該当する場合は、【休職による収入減少】を選択してください）
 ※【休職による収入減少】について、既に復職している場合は申請できません。

<input type="radio"/> 生計維持者が事故、病気等となり就労困難【休職による収入減少】 （家族の看護、介護による休職を含む）	
<input type="radio"/> 同一生計の家計が下落、消費等となり家計が急変【生計維持者の文芸巴人】 （生計維持者自身の治療費等による支出増大を含む）	

3) 生計維持者が失職（退職、会社倒産、廃業）
 定年退職や、独立生計者の進学を理由とする退職の場合も申請できます。
 ※失職後に再就職、起業している場合は申請できません。

4) 生計維持者が震災、火災、風水害等に被災
 以下の該当するものを選択してください。
 ※被災等により、生計維持者が死亡した場合は、「1) 生計維持者が死亡」を選択してください。
 ※被災等により、生計維持者が行方不明や生死不明の場合は、「6) 生計維持者との離別（離婚・行方不明等）」を選択してください。

<input type="radio"/> 被災等により、収入が無くなった <input type="radio"/> 被災等により、収入が減った <input type="radio"/> 被災等により、支山が増えた（収入減は変化なし）	被災した災害が以下の選択肢にある場合は、 該当のものを選択してください。 <input type="text" value="ブルダウン選択"/>
---	---

5) 父母等による暴力等から避難
 父母等による暴力等から避難している状況が分かる証明書類の提出が必要です。
 ※避難の原因となった人物（暴力等を加えた者）については、「○-あなたの家族情報」画面に生計維持者として登録しないでください。（上記【注意事項】参照）

6) 生計維持者との離別（離婚・行方不明等）
 ※離婚調停中で別居しており、同一生計と認められない場合は申請できません。
 ※被災等により、生計維持者が行方不明や生死不明の場合は、「○-家族事情情報」画面に被災した災害（災害が発生した日付、被災地域）を入力してください。
 ※離別した人物については、「○-あなたの家族情報」画面に生計維持者として登録しないでください。（上記【注意事項】参照）

(c) 家計が急変した事事が発生した年月日（半角数字）
 西暦（4桁） 年 月 日
 ※申込期限は申告発生年月日から12か月以内（申告発生が進学前の場合は、進学後3か月以内）です。スカラネット入力完了日（申請日）時点で期限を過ぎている場合は、申請要件に該当しません。

緊急採用 申込書

(d) 家計が急変した事由が発生した日の翌月から現在までの収入について、該当するものすべてを選択してください。
 ※以人の確認が必要となる事由を選択した場合は、収入の項目が表示されます。家計急変事由が発生した年月日の翌月からスカラネット入力完了日（申請日）の前月までに他の申告が必要な収入がある場合は、該当する項目にチェックを入れてください。
 ※マエックを入れると、各項目に応じた提出書類や注意事項が表示されます。

<input type="checkbox"/> 1) 給与所得	<input type="checkbox"/> 6) 礼子所得
<input type="checkbox"/> 2) 事業所得（営業等所得、農林所得）	<input type="checkbox"/> 7) 配当所得
<input type="checkbox"/> 3) 年金（公的年金等控除が適用される年金）	<input type="checkbox"/> 8) 譲渡所得
<input type="checkbox"/> 4) 不動産所得	<input type="checkbox"/> 9) 一時所得
<input type="checkbox"/> 5) 雑所得（③）年金を除く）	<input type="checkbox"/> 10) 山林所得

11) 家計が急変した事由が発生した日の翌月から現在までに、1)～10)の収入はありません

以下のフローチャートを使って、未申告の収入がないことを確認してください。
 提出書類のE3点検済フローチャート ←収入に関する証明書類の提出が必要か確認できるフローチャートが表示されます。

(2) 急変者2（家計が急変した生計維持者2人目）
 ※家計が急変した生計維持者の人数を2人とした場合、急変者2の設定が表示されます。2人目についても同様に入力してください。

(3) 家計が急変した状況について、急変者ごとに入力した内容に誤りがないかをもう一度確認してください。
 ・家計が急変した事由や、事由が発生した年月日に誤りがないか。入力した収入項目に漏れや誤りがないか。
 ※家計急変事由や収入項目の注意事項についても、必ず確認してください。

確認しました

3. 緊急採用（第一種奨学金）を申込みのみ、希望する貸与始期を入力してください。（半角数字）
 なお、あなたの希望する応募採用（第二種奨学金）の貸与始期は自動表示です。
 西暦（4桁） 年 月

※貸与始期は、家計急変事由が生じた年月（申込みから12か月以内、入学した月を限度として遅延可）以降を入力してください。
 ※第年に相当する期間を貸与始期にすることはできません。

※応募採用（第二種奨学金）を申し込む場合、あなたが「①奨学金貸与額情報」2. (3) で入力した年月が表示されます。

→ 「①奨学金振込口座情報」の設定(16ページ)に戻ってください。

以下の設問は、申込画面においては「①奨学金給付額情報」1. (2)の設問（12ページ）の後に表示されます。

家計急変採用の申込者のみ入力してください。

緊急採用 申込書

(3) あなたが給付奨学金を申し込みの、以下の予期できない事由が発生し、家計が急変したためですか。
 ※別途、「給付奨学金（家計急変採用）確定事項提出書」と事主に応じた証明書類の提出を行える場合のみ、「はい」を選択してください。
 はい いいえ
 ※スカラネット入力時点でA～Eの事由に該当しない場合（既に事由が解消している場合も含む）は入力を中止し、学校に申し出てください。

「はい」と答えた人は、急変事由を選択し急変者と事由が発生した年月日を入力してください。

生計維持者	家計が急変した事由が発生した年月日（西暦）
<input type="checkbox"/> A：生計維持者の一方（又は両方）が死亡	
<input type="checkbox"/> B：生計維持者の一方（又は両方）が事故又は病気により、3か月以上、就労が困難	
<input type="checkbox"/> C：生計維持者の一方（又は両方）が失職（「非自発的失業」に限る。）	
<input type="checkbox"/> D：生計維持者が震災、火災、風水害等に被災した場合であって、次のいずれかに該当 ①上記A～Cのいずれかに該当し、A～Cの証明書を提出することができない。 ②被災により、生計維持者の一方（又は両方）が生死不明、行方不明、就労困難など世帯収入を大きく減少させる事由が発生	
<input type="checkbox"/> E：父母等による暴力から得難	

急変事由を選択すると、急変者と事由が発生した年月日を入力できるようになります。
 ※急変者が複数の場合はそれぞれ入力してください。事由発生日が複数ある場合は、後の事由発生日で書き換えます。
 <例：事由A>

生計維持者	家計が急変した事由が発生した年月日（西暦）
<input type="checkbox"/> A：生計維持者の一方（又は両方）が死亡	
<input type="checkbox"/> 父	<input type="text"/> 年 <input type="text"/> 月 <input type="text"/> 日
<input type="checkbox"/> 母	<input type="text"/> 年 <input type="text"/> 月 <input type="text"/> 日
<input type="checkbox"/> その他 → プルダウン選択	<input type="text"/> 年 <input type="text"/> 月 <input type="text"/> 日

※該当する欄を選択してください。

→ 「①あなたの履歴情報」の設定(9ページ)に戻ってください。

【マイナンバー（個人番号）の提出等に関する入力内容記入欄】

スカラネットから申込情報を入力した後は、マイナンバー提出等の手続きが必要です。[給付奨学金案内] 又は [貸与奨学金案内] で「マイナンバー提出等の手続き」の画面を確認しながら、入力内容を記入してください。
 【入力前に、手元を用意するもの】
 ・あなたのマイナンバー（個人番号）及び住民票住所を確認するための書類（マイナンバーカード等）
 ・生計維持者のマイナンバー（個人番号）及び住民票住所を確認するための書類（マイナンバーカード等）
 ※必ず許可を得たうえで受け取ってください。

希望する奨学金	スカラネット画面表示	入力内容記入欄										
全員	<p>STEP 1 個人番号提出可否</p> <p>表示されている情報に誤りがある場合は、画面を等して学校担当者に連絡してください。</p> <p>1. 登録されているあなたの情報は以下のとおりです。</p> <table border="1"> <tr><td>あなたの情報</td><td></td></tr> <tr><td>漢字氏名</td><td>自動表示</td></tr> <tr><td>カナ氏名</td><td>自動表示</td></tr> <tr><td>奨学金申込時等に入力した居住地</td><td>自動表示</td></tr> <tr><td>生年月日</td><td>自動表示</td></tr> </table> <p>あなたの情報に誤りがなければ確認してください。 <input type="checkbox"/> 確認しました</p> <p>あなたは個人番号を提出できますか。 <input type="radio"/> 提出できます <input type="radio"/> 提出できません</p> <p>個人番号の提出ができない人は、理由としてあてはまるものを選択してください。 <small>※別添、契状（契）譲渡等の証明書類を提出する必要があります。</small></p> <p><input type="radio"/> 海外居住等によりマイナンバーの交付を受けていないため提出できない <input type="radio"/> その他の事情により提出できない 提出できない「その他の事情」を入力してください。（半角50文字以内）</p>		あなたの情報		漢字氏名	自動表示	カナ氏名	自動表示	奨学金申込時等に入力した居住地	自動表示	生年月日	自動表示
	あなたの情報											
	漢字氏名	自動表示										
カナ氏名	自動表示											
奨学金申込時等に入力した居住地	自動表示											
生年月日	自動表示											
<p>2. 登録されている生計維持者①の情報は以下のとおりです。</p> <table border="1"> <tr><td>生計維持者①の情報</td><td></td></tr> <tr><td>漢字氏名</td><td>自動表示</td></tr> <tr><td>カナ氏名</td><td>自動表示</td></tr> <tr><td>奨学金申込時等に入力した居住地</td><td>自動表示</td></tr> <tr><td>生年月日</td><td>自動表示</td></tr> </table> <p>生計維持者①の情報に誤りがなければ確認してください。 <input type="checkbox"/> 確認しました</p> <p>生計維持者①は個人番号を提出できますか。 <input type="radio"/> 提出できます <input type="radio"/> 提出できません</p> <p>個人番号の提出ができない人は、理由としてあてはまるものを選択してください。 <small>※別添、契状（契）譲渡等の証明書類を提出する必要があります。</small></p> <p><input type="radio"/> 海外居住等によりマイナンバーの交付を受けていないため提出できない <input type="radio"/> その他の事情により提出できない 提出できない「その他の事情」を入力してください。（半角50文字以内）</p>		生計維持者①の情報		漢字氏名	自動表示	カナ氏名	自動表示	奨学金申込時等に入力した居住地	自動表示	生年月日	自動表示	
生計維持者①の情報												
漢字氏名	自動表示											
カナ氏名	自動表示											
奨学金申込時等に入力した居住地	自動表示											
生年月日	自動表示											
<p>3. 登録されている生計維持者②の情報は以下のとおりです。</p> <table border="1"> <tr><td>生計維持者②の情報</td><td></td></tr> <tr><td>漢字氏名</td><td>自動表示</td></tr> <tr><td>カナ氏名</td><td>自動表示</td></tr> <tr><td>奨学金申込時等に入力した居住地</td><td>自動表示</td></tr> <tr><td>生年月日</td><td>自動表示</td></tr> </table> <p>生計維持者②の情報に誤りがなければ確認してください。 <input type="checkbox"/> 確認しました</p> <p>生計維持者②は個人番号を提出できますか。 <input type="radio"/> 提出できます <input type="radio"/> 提出できません</p> <p>個人番号の提出ができない人は、理由としてあてはまるものを選択してください。 <small>※別添、契状（契）譲渡等の証明書類を提出する必要があります。</small></p> <p><input type="radio"/> 海外居住等によりマイナンバーの交付を受けていないため提出できない <input type="radio"/> その他の事情により提出できない 提出できない「その他の事情」を入力してください。（半角50文字以内）</p>		生計維持者②の情報		漢字氏名	自動表示	カナ氏名	自動表示	奨学金申込時等に入力した居住地	自動表示	生年月日	自動表示	
生計維持者②の情報												
漢字氏名	自動表示											
カナ氏名	自動表示											
奨学金申込時等に入力した居住地	自動表示											
生年月日	自動表示											
全員	<p>STEP 2 住民票住所</p> <p>1. 登録されているあなたの情報は以下のとおりです。</p> <table border="1"> <tr><td>あなたの情報</td><td></td></tr> <tr><td>漢字氏名</td><td>自動表示</td></tr> <tr><td>カナ氏名</td><td>自動表示</td></tr> <tr><td>奨学金申込時等に入力した居住地</td><td>自動表示</td></tr> <tr><td>生年月日</td><td>自動表示</td></tr> </table> <p>あなたの 住民票記載 の住所を入力してください。</p> <p>郵便番号(ハイフンなし) 住所 1 (自動入力) 住所 2 (番地以降)</p> <p><input type="checkbox"/> 番地まで自動表示</p>		あなたの情報		漢字氏名	自動表示	カナ氏名	自動表示	奨学金申込時等に入力した居住地	自動表示	生年月日	自動表示
あなたの情報												
漢字氏名	自動表示											
カナ氏名	自動表示											
奨学金申込時等に入力した居住地	自動表示											
生年月日	自動表示											

全員

申込者本人、生計維持者①・②のマイナンバー情報を提出する項目です。それぞれのマイナンバーを用意のうえ、必要事項を記入してください。

希望する奨学金	スカラネット画面表示	入力内容記入欄												
全員	<p>2. 登録されている生計維持者①の情報は以下のとおりです。</p> <table border="1"> <tr><td>生計維持者①の情報</td><td></td></tr> <tr><td>姓</td><td>自動表示</td></tr> <tr><td>漢字氏名</td><td>自動表示</td></tr> <tr><td>カナ氏名</td><td>自動表示</td></tr> <tr><td>奨学金申込時等に入力した居住地</td><td>自動表示</td></tr> <tr><td>生年月日</td><td>自動表示</td></tr> </table> <p>生計維持者①の 住民票記載 の住所を入力してください。 [申込者本人と同じ住所を自動表示する] ボタンを押すと申込者本人の住民票住所が自動で入力されます。</p> <p>郵便番号 (ハイフンなし)</p> <p>住所 1 (自動入力) <input type="text" value="〒0000000"/></p> <p>住所 2 (番地以降) <input type="text"/></p>	生計維持者①の情報		姓	自動表示	漢字氏名	自動表示	カナ氏名	自動表示	奨学金申込時等に入力した居住地	自動表示	生年月日	自動表示	
	生計維持者①の情報													
姓	自動表示													
漢字氏名	自動表示													
カナ氏名	自動表示													
奨学金申込時等に入力した居住地	自動表示													
生年月日	自動表示													
<p>3. 登録されている生計維持者②の情報は以下のとおりです。</p> <table border="1"> <tr><td>生計維持者②の情報</td><td></td></tr> <tr><td>姓</td><td>自動表示</td></tr> <tr><td>漢字氏名</td><td>自動表示</td></tr> <tr><td>カナ氏名</td><td>自動表示</td></tr> <tr><td>奨学金申込時等に入力した居住地</td><td>自動表示</td></tr> <tr><td>生年月日</td><td>自動表示</td></tr> </table> <p>生計維持者②の 住民票記載 の住所を入力してください。 [申込者本人と同じ住所を自動表示する] ボタンを押すと申込者本人の住民票住所が自動で入力されます。</p> <p>郵便番号 (ハイフンなし)</p> <p>住所 1 (自動入力) <input type="text" value="〒0000000"/></p> <p>住所 2 (番地以降) <input type="text"/></p>	生計維持者②の情報		姓	自動表示	漢字氏名	自動表示	カナ氏名	自動表示	奨学金申込時等に入力した居住地	自動表示	生年月日	自動表示		
生計維持者②の情報														
姓	自動表示													
漢字氏名	自動表示													
カナ氏名	自動表示													
奨学金申込時等に入力した居住地	自動表示													
生年月日	自動表示													
全員	<p>STEP 3 個人番号</p> <p>個人番号画面は一屏保存できません。</p> <p>1. 登録されているあなたの情報は以下のとおりです。</p> <table border="1"> <tr><td>あなたの情報</td><td></td></tr> <tr><td>姓</td><td>自動表示</td></tr> <tr><td>漢字氏名</td><td>自動表示</td></tr> <tr><td>カナ氏名</td><td>自動表示</td></tr> <tr><td>奨学金申込時等に入力した居住地</td><td>自動表示</td></tr> <tr><td>生年月日</td><td>自動表示</td></tr> </table> <p>あなたの個人番号を入力してください。</p> <p>※マイナンバーカード等を確認し、正しい個人番号を入力してください。 他の人の個人番号を入力したり、個人番号の全部または一部の入力を見ると、奨学金の選考が行えません。十分注意して入力してください。</p> <p>個人番号 <input type="text" value="マイナンバー カードを確認しながら入力"/> ※この用紙には記入しないでください。 確認用 <input type="text" value="マイナンバーカード等を確認しながら入力"/></p> <p>確認のため、再度個人番号を入力してください。</p>	あなたの情報		姓	自動表示	漢字氏名	自動表示	カナ氏名	自動表示	奨学金申込時等に入力した居住地	自動表示	生年月日	自動表示	
	あなたの情報													
姓	自動表示													
漢字氏名	自動表示													
カナ氏名	自動表示													
奨学金申込時等に入力した居住地	自動表示													
生年月日	自動表示													
<p>2. 登録されている生計維持者①の情報は以下のとおりです。</p> <table border="1"> <tr><td>生計維持者①の情報</td><td></td></tr> <tr><td>姓</td><td>自動表示</td></tr> <tr><td>漢字氏名</td><td>自動表示</td></tr> <tr><td>カナ氏名</td><td>自動表示</td></tr> <tr><td>奨学金申込時等に入力した居住地</td><td>自動表示</td></tr> <tr><td>生年月日</td><td>自動表示</td></tr> </table> <p>生計維持者①の個人番号を入力してください。</p> <p>※マイナンバーカード等を確認し、正しい個人番号を入力してください。 他の人の個人番号を入力したり、個人番号の全部または一部の入力を見ると、奨学金の選考が行えません。十分注意して入力してください。</p> <p>個人番号 <input type="text" value="マイナンバーカード等を確認しながら入力"/> ※この用紙には記入しないでください。 確認用 <input type="text" value="マイナンバーカード等を確認しながら入力"/></p> <p>確認のため、再度個人番号を入力してください。</p>	生計維持者①の情報		姓	自動表示	漢字氏名	自動表示	カナ氏名	自動表示	奨学金申込時等に入力した居住地	自動表示	生年月日	自動表示		
生計維持者①の情報														
姓	自動表示													
漢字氏名	自動表示													
カナ氏名	自動表示													
奨学金申込時等に入力した居住地	自動表示													
生年月日	自動表示													
<p>3. 登録されている生計維持者②の情報は以下のとおりです。</p> <table border="1"> <tr><td>生計維持者②の情報</td><td></td></tr> <tr><td>姓</td><td>自動表示</td></tr> <tr><td>漢字氏名</td><td>自動表示</td></tr> <tr><td>カナ氏名</td><td>自動表示</td></tr> <tr><td>奨学金申込時等に入力した居住地</td><td>自動表示</td></tr> <tr><td>生年月日</td><td>自動表示</td></tr> </table> <p>生計維持者②の個人番号を入力してください。</p> <p>※マイナンバーカード等を確認し、正しい個人番号を入力してください。 他の人の個人番号を入力したり、個人番号の全部または一部の入力を見ると、奨学金の選考が行えません。十分注意して入力してください。</p> <p>個人番号 <input type="text" value="マイナンバーカード等を確認しながら入力"/> ※この用紙には記入しないでください。 確認用 <input type="text" value="マイナンバー カード等を確認しながら入力"/></p> <p>確認のため、再度個人番号を入力してください。</p>	生計維持者②の情報		姓	自動表示	漢字氏名	自動表示	カナ氏名	自動表示	奨学金申込時等に入力した居住地	自動表示	生年月日	自動表示		
生計維持者②の情報														
姓	自動表示													
漢字氏名	自動表示													
カナ氏名	自動表示													
奨学金申込時等に入力した居住地	自動表示													
生年月日	自動表示													
<p>入力後、[次へ] ボタンを押すと、STEP 4 入力内容確認に進みます。入力内容を確認してから [戻る] ボタンを押してください。マイナンバーの提出状況はスカラネットのメインメニューで確認できます。</p>														

全員

申込者本人、生計維持者①・②のマイナンバー情報を提出する項目です。それぞれのマイナンバーを用意のうえ、必要事項を記入してください。